docomo GALAXY Tab SC-01C

取扱説明書

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「SC-01C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。SC-01Cはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。

取扱説明書について

SC-01Cの操作は、本書のほかに「クイックスタートガイド」や本FOMA端末用のアプリケーションである「取扱説明書」で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

■「取扱説明書」（本FOMA端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明

SC-01Cのホーム画面で「アプリ」→「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。

- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明

ドコモのホームページでダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、FOMA端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.26）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、▦（アプリアイコン）、8（検索アイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本FOMA端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-01C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

目次

SC-01Cをご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用するACアダプタ（USB接続ケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をACアダプタ（USB接続ケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、FOMA端末やACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

次ページへ続く

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面にはITOフィルム、カメラのレンズの表面にはアクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火､破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となったFOMA端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.10「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3.ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の取り扱いについて

⚠警告

禁止
USB接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
USB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でACアダプタ（USB接続ケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示
電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントから抜く場合は、USB接続ケーブルのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4.ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
表面／ディスプレイパネル	強化ガラス	AFコーティング
端末側面／裏面	PC	UVコーティング
ヘッドホン接続端子	SUS	－
音量上／下ボタン、電源ボタン	PC	－
UIMカードスロット	SUS	－
UIMカードスロットカバー	PC	－
microSDカードスロット	SUS	－
microSDカードスロットカバー	PC	－
リアカメラレンズパネル	アクリル樹脂	－
フラッシュパネル	アクリル樹脂	－
外部接続端子	SUS	－
スピーカーグリル	SUS	－

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
FOMA端末、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **FOMA端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常は UIM カードスロットカバー、microSD カードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

次ページへ続く

■ **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、ファイルトランスファー、SIMアクセス、フォンブックアクセスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetoothデバイスのみ）。
- 周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能（2.4GHz帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	FH-SS方式：10m以下 DS-SS方式：40m以下 OFDM方式：40m以下
周波数変更の可否	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- Bluetoothデバイス使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
  - WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

次ページへ続く

■ 本FOMA端末の5GHz帯の使用チャンネルについて
本FOMA端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。
- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

注意

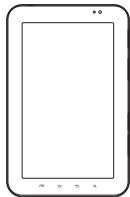
■ **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。

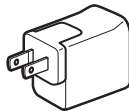
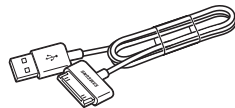
■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **通信中は、本FOMA端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

本体付属品／試供品について

■ 本体付属品

SC-01C
（保証書含む）

クイックスタートガイド

ACアダプタ SC01
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）
（取扱説明書付き）

マイク付ステレオヘッドセット
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品について→P.120

はじめに

ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードが取り付けられていないと、FOMA端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

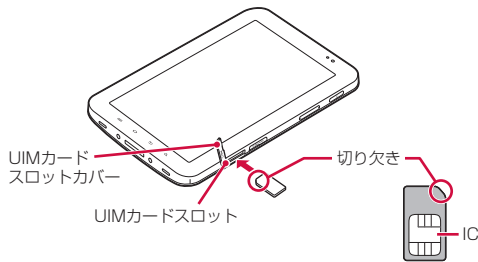
- ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモUIMカードの取り付けかた／取り外しかた

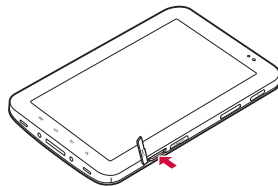
- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください（P.26）。
- 取り付け／取り外しを行うときに、ドコモUIMカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 **FOMA端末のUIMカードスロットカバーを開き、ドコモUIMカードのIC面を下にして、ドコモUIMカードを図の向きでドコモUIMカードスロットの奥まで差し込む**

正しい向きに差し込むと、まずUIMカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

ドコモUIMカードを取り外す

1 **FOMA端末のUIMカードスロットカバーを開き、FOMA端末に取り付けられているドコモUIMカードを矢印の方向に軽く押し込む**

ドコモUIMカードが少し飛び出します。

2 **ドコモUIMカードをまっすぐ引き出す**

お知らせ

- ドコモUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようご注意ください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号が設定されています（P.35）。

■ **WORLD WINGについて**

WORLD WINGは、ドコモUIMカード（緑色／白色）を本サービス対応のFOMA端末に取り付けることで、海外でも同じ携帯電話番号で電話の発着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、海外でドコモUIMカード（緑色／白色）を紛失・盗難された場合は、速やかにドコモにご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。
  なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料も、お客様のご負担となりますのでご注意ください。

充電する

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 充電について

- 付属のACアダプタはAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。
  ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。
- 充電中に本FOMA端末を使用するとき、充電に使用している電源が不安定な場合は、タッチスクリーンや／／／が動作しないことがあります。この場合、ACアダプタを取り外して、充電を中断してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。
  このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、充電時間や内蔵電池の劣化度で異なります。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約1600時間 移動時（自動）：約1000時間 移動時（3G固定）：約1080時間
	GSM	静止時（自動）：約1160時間
連続通話時間	FOMA／3G	約910分
	GSM	約1150分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間が約半分程度になる場合があります。インターネットなどで通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や通信をしなくても、メールの作成、ダウンロードしたアプリケーションの起動、データ通信、カメラの使用、動画の再生、音楽再生・Bluetooth接続を使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

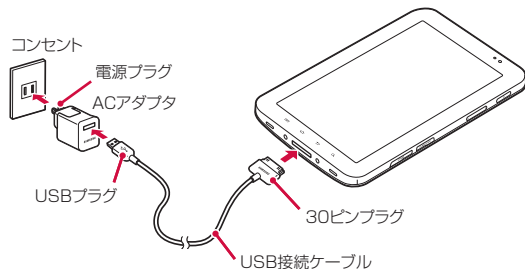
■ 内蔵電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約224分

- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

充電する

付属のACアダプタとUSB接続ケーブルを使って充電する方法を説明します。

- お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタとUSB接続ケーブルで充電してからお使いください。
- ACアダプタの電源プラグ部分に強い力をかけないでください。電源プラグ部分が外れることがあります。

1 **USB接続ケーブルのUSBプラグを、⇐⊸の印刷面を上にしてACアダプタへ図の向きに水平に差し込む**

2 FOMA端末の外部接続端子にUSB接続ケーブルを30ピンプラグの「SAMSUNG」の印刷面を上にして差し込む

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

充電が完了すると、100%と充電の完了をお知らせするメッセージが表示されます。

4 充電が完了したら、30ピンプラグをFOMA端末から引き抜く

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

■ USB接続ケーブルでパソコンと接続して充電する

FOMA端末の電源を切った状態か、画面の表示が消えている状態でパソコンと接続すると、充電できます。

• パソコンとの接続のしかたは、P.89をご覧ください。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的にFOMA端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「電池使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリケーションによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できなくなります。

microSDカードを使う

FOMA端末は、microSDカード（microSDHCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

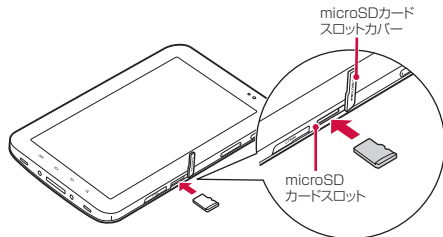
● 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年4月現在）。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

● 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

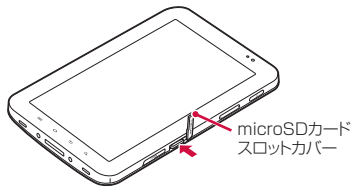
microSDカードを取り付ける

1 FOMA端末のmicroSDカードスロットカバーを開き、microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.107）を行ってください。

1 **FOMA端末のmicroSDカードスロットカバーを開き、FOMA端末に取り付けられているmicroSDカードを矢印の方向に軽く押し込む**

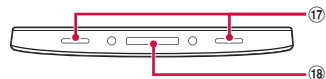
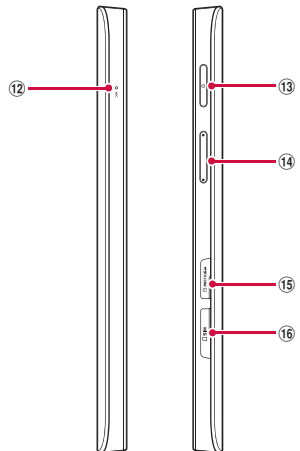
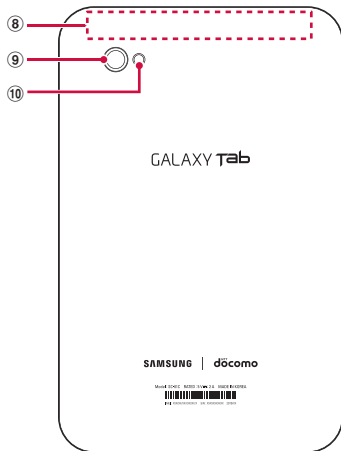
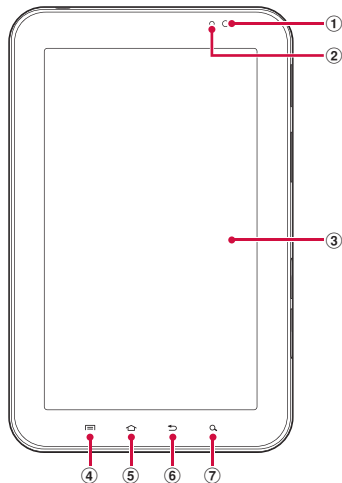
microSDカードが少し飛び出します。

2 **microSDカードをまっすぐ引き出す**

microSDカードを初期化する

- microSD カードを初期化すると、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「SDカードと内蔵メモリ」**

2 **「外部SDカードのマウント解除」→「外部SDカードの初期化」→「外部SDカードの初期化」→「全て消去」**

各部の名称と機能

次ページへ続く

① **フロントカメラ**
- 自分を撮影するときなどに使用します。

② **照度センサー**
- 周囲の明るさを検知します。ディスプレイの明るさの自動調整などに利用されます。

③ **ディスプレイ（タッチスクリーン）→P.26**

④ **メニューボタン**
- 表示中の画面やアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。

⑤ **ホームボタン**
- 操作中の画面をホーム画面に戻します（P.28）。
- 1秒以上押すと、新しく起動した順に8件までの機能やアプリケーションの一覧とタスクマネージャ（P.33）の起動ボタンが表示され、タップして起動できます。

⑥ **バックボタン**
- メニュー表示などをボタン操作の一段階前の状態に戻します。
- アプリケーションを終了します。

⑦ **検索ボタン**
- クイック検索ボックスを起動します（P.29）。
- 1秒以上押すと、音声検索（P.32）が起動できます。

⑧ **内蔵アンテナ部分**
- アンテナが内蔵されています。より良い条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⑨ **リアカメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.78）。

⑩ **フラッシュ**
- 静止画／動画の撮影時に点灯します。

⑪ **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⑫ **送話口**
- 自分の音声を相手に送ります。

⑬ **電源／終了ボタン**
- 1秒以上押して、FOMA端末の電源を入れます。
- 手動でスクリーンロックを設定できます（P.30）。
- FOMA端末の電源が入っているときに1秒以上押すと、オプションメニュー画面が表示され、電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。

⑭ **音量大ボタン／音量小ボタン→P.67、P.71**

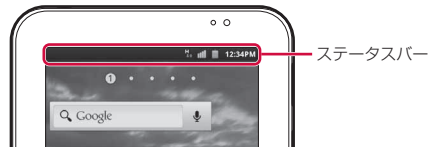
⑮ **microSDカードスロット**

⑯ **UIMカードスロット**

⑰ **スピーカー**
- 着信音が鳴ります。
- ハンズフリー通話時に相手からの音声が聞こえます。

⑱ **外部接続端子**
- 付属のUSB接続ケーブルなどを接続します。

ステータスバーに表示される主なアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、FOMA端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

通知アイコン	
（緑）	通話中
	保留中通話あり
	不在着信あり
（青）	Bluetoothデバイス（ヘッドセットなど）で通話中
	新着Gmailあり

通知アイコン	
	新着Eメールあり
	新着SMSあり（数字は件数）
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり（数字は件数）
	新着インスタントメッセージあり
	データダウンロード中／完了 • ダウンロード中は、矢印の部分がアニメーション表示されます。
	データアップロード中／完了 • アップロード中は、矢印の部分がアニメーション表示されます。 • Bluetooth通信による複数の画像のアップロード中は、アップロード未完了の画像数が数字で表示されます。
	Picasaなどにデータアップロード完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	アラームあり
	カレンダーなどのアラームあり

通知アイコン	
／	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	microSDカード／USBストレージ（FOMA端末のメモリ）のスキャン中
	microSDカード／USBストレージ（FOMA端末のメモリ）使用準備中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	Samsung Appsからインストール済みアプリケーションのアップデートあり／アプリケーションのダウンロード中またはインストール完了
	アプリケーションのインストール完了
	Googleマップナビでナビゲーション中
	非表示の通知情報あり（数字は件数）

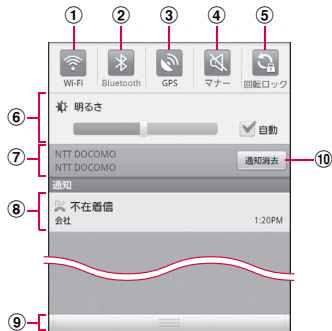
ステータスアイコン	
弱 ⇔ 強	電波状態
弱 ⇔ 強	電波状態（国際ローミング中）

次ページへ続く

ステータスアイコン	
	圏外
	3Gネットワーク接続中 （矢印色：グレー）
	3Gネットワーク通信中 （矢印色　左：橙、右：緑）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク接続中 （矢印色：グレー）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク通信中 （矢印色　左：橙、右：緑）
	GPRSネットワーク接続中 （矢印色：グレー）
	GPRSネットワーク通信中 （矢印色　左：橙、右：緑）
	EDGEネットワーク接続中 （矢印色：グレー）
	EDGEネットワーク通信中 （矢印色　左：橙、右：緑）
	GPS機能現在地測位中（アニメーション表示）／測位完了（アニメーション表示停止）
	Wi-Fi接続中／使用中
	Bluetooth機能有効
	Bluetoothデバイスと接続中

ステータスアイコン	
	データ同期中
	機内モード設定中
	マナーモード設定中（バイブレーションあり）
	マナーモード設定中（バイブレーションなし）
	ハンズフリー通話中
	マイクミュート（消音）中
	ドコモUIMカード未挿入状態
低 ⇔ 高	電池レベル
	充電中
	アラーム設定中

設定／通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると設定／通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

設定／通知パネルの表示内容（表示例）

① Wi-Fi機能の有効／無効を切り替えます（P.90）。
② Bluetooth機能の有効／無効を切り替えます（P.93）。
③ GPS機能の有効／無効を切り替えます（P.54）。
④ マナーモードのON／OFFを切り替えます（P.72）。
⑤ 画面の自動回転を停止するかどうかを設定します。
⑥ ディスプレイの明るさを調整します（P.34）。
⑦ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
⑧ 不在着信やSMSの受信などの通知情報が表示されます。
⑨ 上方向にスクロールして設定／通知パネルを閉じます。
⑩ 表示されているときは、タップして通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消します。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

お知らせ

- ①〜⑤のアイコンは、有効に設定されている場合は緑色で表示されます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す

起動画面が表示され、続いてスクリーンロック（P.30）が設定された状態のホーム画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.26）。

- ドコモUIMカードを取り付けずに電源を入れた場合は、取り付けを促す画面が表示されます。

2 画面をスワイプして画面ロックを解除する

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.23）。
が表示されたときは、FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 ⏻を1秒以上押す

オプションメニュー画面が表示されます。

2 「電源Off」

3 「OK」

終了画面が表示され、電源が切れます。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてFOMA端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やインターネット接続の方法およびGPSの位置情報の設定を行います。

1 使用する言語を選択→「次へ」

2 パケット通信を行うかどうかを選択→「次へ」

チェックを付けると以降パケット通信が発生します。

3 Wi-Fiに接続するかどうかを選択→「次へ」

「Wi-Fiに接続」にチェックを付けた場合

続けて「Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する」の操作3（P.90）を行います。

4 Googleロケーションの使用を許可するかどうかを設定→「次へ」

5 アカウントを設定→「次へ」

Googleアカウントなど、設定したいアカウントをタップして画面の指示に従って設定します。

- FOMA端末が通信できない場合には、本画面は表示されません。

6 「完了」

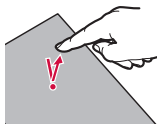
タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

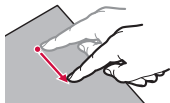
- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

本FOMA端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ **タップする／ダブルタップする**

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ **ロングタッチする**

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ（スライド）する 表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。	
■ スクロールする 表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。	
■ フリック（スワイプ）する 表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。	
■ 2本の指の間隔を広げる／狭める 表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。	

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

お知らせ

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、FOMA端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。

画面の表示内容を画像として保存する

[↩]をロングタッチしながら[⏻]を押すと、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。動作が完了すると画面上にキャプチャの完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 一部のアプリケーション（いつもNAVI（地図）、ナビ、マップ、Latitude、Evernote、電話帳コピーツールなど）ではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

ホーム画面について

FOMA端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容（縦に表示した場合の表示例）

① ホーム画面の位置が表示されます。ホーム画面は左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- 横向きに表示した場合、ホーム画面の切り替え後、約1秒経過すると自動的に表示されなくなります。

② **ウィジェット**（例：クイック検索ボックス、ニュースと天気）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

③ **ショートカット**
タップして、アプリケーション画面（P.30）の機能やFOMA端末の設定項目などを起動します。

④ ホーム画面の位置に関係なく、常にショートカットとアプリケーション画面（P.30）を起動するアイコンが表示されます。
ショートカットは入れ替えることができます。

お知らせ

- 画面下部のショートカットを入れ替えるには、ショートカットを削除（P.29）して空欄にした後、入れ替えたいショートカットをロングタッチ→空欄の位置までショートカットアイコンをドラッグして離します。
- ウィジェットやショートカットは、任意のホーム画面に追加できます。
- 本書では、ホーム画面にショートカットがあらかじめ追加されているアプリケーションの起動を、ショートカットをタップする操作手順で記載しています。

ホーム画面のメニュー

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
追加※1※2	•「ウィジェット」「ショートカット」：ウィジェット／ショートカットをホーム画面に追加します。 •「フォルダ」※3：ショートカットをまとめて格納するフォルダや、電話帳のフォルダなどをホーム画面に追加します。 •「壁紙」：ホーム画面の壁紙を変更します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」から選択して変更します。
検索	クイック検索ボックスを起動します（P.29）。
通知	設定／通知パネルを表示します（P.25）。

項目	説明
編集※4	ホーム画面のサムネイルを表示し、ホーム画面を追加／削除したり、位置を入れ替えたりします。 • ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます。「削除」までドラッグして離すと、ホーム画面を削除できます。 • ＋をタップすると、最大９枚までホーム画面を追加できます。
設定	設定メニューを表示します（P.105）。

※1：ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチして追加することもできます。
※2：ホーム画面にスペースがない場合は追加できません。
※3：フォルダ名を変更するには、ホーム画面でフォルダをタップ→フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ→フォルダ名を入力→「OK」をタップします。
※4：ホーム画面で2本の指の間隔を狭めても、ホーム画面のサムネイルを表示できます。

ホーム画面からショートカットやウィジェットを削除／移動する

例：削除する場合

1 ホーム画面上の削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチする

ホーム画面下部の「アプリ」が「削除」に変更されます。

2 そのまま「削除」までドラッグして離す

移動する場合

移動したい位置までドラッグして離します。

お知らせ

- ホーム画面下部に表示される「アプリ」は削除／移動できません。
- ホーム画面のメニューから「追加」→「フォルダ」→「新規フォルダ」をタップして作成したフォルダまでショートカットをドラッグすると、フォルダ内にショートカットを移動できます。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報をFOMA端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面で[Q]

① 入力した文字が表示されます。
② 入力中の文字を含むFOMA端末内の情報や検索候補が表示されます。
③ 文字入力後にタップすると入力された文字がすべて消去されます。
文字が入力されていない場合はマイクが表示され、タップすると音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。
④ 選択した文字で再度検索候補を表示します。

お知らせ

- ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「検索」をタップすると、検索する情報の種類や設定を変更できます（P.108）。
- ホーム画面で「アプリ」→「音声検索」をタップすると、Google検索で検索したい語句を音声で入力できます。
- 音声検索の画面で[メニュー]→「設定」をタップすると、音声認識の設定ができます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

スクリーンロックを設定／解除する

スクリーンロックを設定し、タッチスクリーンやボタンの誤動作を防止できます。

- 「バックライト消灯」（P.106）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的にスクリーンロックが設定されます。

手動でスクリーンロックを設定する

1 [電源]を押す

画面の表示が消え、スクリーンロックが設定されます。

スクリーンロックを解除する

1 スクリーンロック中に[電源]を押す

ディスプレイが点灯し、ロック解除画面が表示されます。

2 スクリーンロックが解除されるまで、画面をスワイプする

お知らせ

- スクリーンロックの解除にパターン／PIN／パスワードの入力が必要になるように設定できます（P.35）。
- パターン／PIN／パスワードを設定している場合、ロック解除画面には「緊急通報」が表示され、タップすると緊急通報ができます。ただし、圏外、ネットワーク規制中、または日本国内でドコモUIMカードを取り付けていない場合は、緊急通報ができません。

アプリケーション画面について

FOMA端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。アプリケーション画面は複数のページで構成され、左右にスクロール／フリックして表示を切り替えることができます。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で「アプリ」

お知らせ

- アプリケーション画面で2本の指の間隔を狭めてサムネイルを表示し、アプリケーション画面のサムネイルをロングタッチ→別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます。

アプリケーション画面のメニュー

[≡]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
編集	• アプリケーション画面のアイコンをドラッグして、表示位置を変更できます。また、画面左右の外側にアイコンをドラッグすると、左右のページにアイコンを移動できます。 • 一番右のページで画面右の外側にアイコンをドラッグすると、ページを追加できます。

アプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明
	アラーム	設定した時間にアラームを鳴らすことができます。
	いつもNAVI（地図）	現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたりできます。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	カレンダー	スケジュールを管理できます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	スケッチメモ	手書き入力によるメモを作成できます。
	ダウンロード	アプリケーションでダウンロードしたファイルを記録／管理できます。
	タスクマネージャ	起動中のアプリケーションの確認・終了などができます。
	トーク	Googleトークでチャットができます。
	ドコモマーケット	ドコモがおすすめするウェブページやアプリケーションを確認・ダウンロードできます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。
	ニュースと天気	現在地周辺の気象情報やニュースを確認できます。
	ブック	電子書籍を表示して読むことができます。
	ブラウザ	携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。
	プレイス	現在地周辺の店などの情報を検索できます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。
	マガストア	雑誌を購入して閲覧できます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	メモ	メモを作成できます。
	AllShare	DLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有できます。
	Backup	FOMA端末に保存されているデータをバックアップ、復元できます。
	Daily Briefing	気象情報や株式情報、ニュースの確認や、スケジュールの登録・確認ができます。
	Digital frame	FOMA端末をデジタルフレームとして利用し、時計や写真を表示したり、音楽を再生したりできます。

次ページへ続く

アイコン	アプリケーション	説明
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	Evernote	メモや画像などのさまざまな情報をEvernote のサーバに保存でき、パソコンなど他の機器と情報を同期できます。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。
	Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロードできます。
	Pulse	さまざまなサイトの情報を自動的に更新して、縦横にスクロールして閲覧できます。
	Samsung Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	Social Hub	SMS やSNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションを利用して、SMSの送信やSNSの情報更新ができます。
	spモードメール	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
	ThinkFree Office	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	音楽	音楽を再生できます。
	音声検索	音声でキーワードを入力してGoogle検索ができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	共同通信ニュースNEWSmart	共同通信社などが配信する10大ニュースを確認できます。
	検索	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書アプリケーションで操作方法などを閲覧できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動できます。
	世界時計	指定した国・地域の時刻を確認できます。
	設定	FOMA端末の各種設定ができます。
	電子書籍	電子書籍やコミックを閲覧できます。
	電卓	計算できます。
	電話	電話の発信や履歴の確認などができます。
	電話帳	電話帳の登録・管理ができます。
	電話帳コピーツール	電話帳の登録情報をエクスポート／インポートできます。
	動画	動画を再生できます。

お知らせ

- アプリケーション画面下部の「ホーム」をタップすると、ホーム画面に戻ります。
- EメールやSMSを受信すると、「Eメール」や「SMS」のアイコンの右上に受信したメールの件数が表示されます。
- アプリケーション画面のアイコンをロングタッチすると、ホーム画面にショートカットを作成できます。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

ウィンドウには、最近使用したアプリケーションが最大8件まで表示されます。

1 [ホーム]をロングタッチする

- アイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。
- 「タスクマネージャ」をタップすると、タスクマネージャ（P.33）を起動できます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 ホーム画面で「アプリ」→「タスクマネージャ」

タスクマネージャ画面

① タブ

「起動中のアプリ」タブ：起動中のアプリケーションの一覧が表示されます。
「ダウンロードアプリ」タブ：インストールしたアプリケーションの一覧とメモリ使用状況を確認します。「削除」をタップすると、アプリケーションをアンインストールします。
「RAM」タブ：RAMの使用状況を確認します。「メモリーの消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。
「保存先」タブ：各種メモリの使用状況を確認します。
「ヘルプ」タブ：内蔵電池の使用時間を延ばすためのFOMA端末の使用方法が表示されます。

② **起動中のアプリケーションの件数**

「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

③ **起動中のアプリケーション一覧**

「終了」をタップすると、アプリケーションを終了します。

お知らせ

- 「起動中のアプリ」タブで[メニュー]→「ソート」をタップすると、一覧の表示順を変更できます。

FOMA端末の基本的な設定について

FOMA端末のお買い上げ後などに変更されることが多い基本的な設定項目について説明します。

画面切り替え時のアニメーション効果を設定する

画面がなめらかに切り替わるように見えるアニメーション効果の有効／無効を設定します。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「画面設定」→「アニメーション表示」

2 設定項目を選択する

項目	説明
アニメーションなし	アニメーション効果を無効にします。
一部のアニメーション	アプリケーション画面表示時など、一部の画面切り替え時のみアニメーション効果を有効にします。
全てのアニメーション	アニメーション効果を有効にします。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で[≡]→「壁紙」

2 壁紙の選択元を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」から選択→壁紙を選択

- 「ギャラリー」を選択すると、ホーム画面1枚分の画像サイズを指定して壁紙を固定したり、指で枠を操作して壁紙に使う画像の範囲を変えたりできます。壁紙の設定を変更しない場合は、「キャンセル」をタップします。

ディスプレイの明るさを調節する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「画面設定」→「明るさ」

2 「自動明るさ調整」のチェックを外す

3 スライドバーを左右にスライドさせて調整→「OK」

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末のスクリーンロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力したスクリーンロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PIN1コード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でお申し込みされたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

スクリーンロック用PIN／パスワード

FOMA端末のスクリーンロック機能を使用するための暗証番号です（P.35）。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※：「My docomo」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード※

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時や発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号です。
※： 本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PIN1コードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力→「OK」→新しいPIN1コードを入力→「OK」→再度PIN1コードを入力→「OK」をタップします。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
- 日本国内ではPINロック解除コード入力画面で「緊急通報」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PIN1コードを設定する

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける→PIN1コードを入力→「OK」

お知らせ

- 日本国内ではPIN1コード入力画面で「緊急通報」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PIN1コードを変更する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける→現在のPIN1コードを入力→「OK」

2 「SIM PINの変更」→画面の指示に従って現在のPIN1コードと新しいPIN1コードを入力→「OK」

スクリーンロックの解除方法を設定する

スクリーンロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「スクリーンロック設定」

次ページへ続く

2 「パターン」／「PIN」／「パスワード」→画面の指示に従って入力する

「PIN」は4つ以上の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4つ以上の文字で設定してください。

お知らせ

- スクリーンロック設定をオフにするには、ホーム画面で[≡]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「スクリーンロックの変更」→ロック解除パターン、PINまたはパスワードを入力する→「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。スクリーンロックの解除時に解除パターンを忘れた場合は、FOMA端末にGoogleアカウントを設定していると再入力の画面で「パターンを忘れた場合」が表示され、タップしてGoogleアカウントにサインイン情報を入力すると、新しい解除パターンに変更してスクリーンロックを解除できます。Googleアカウントを設定していない場合、またはPINやパスワードを忘れた場合は、スクリーンロックの解除ができませんのでご注意ください。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイントは、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモード、mopera Uのアクセスポイントはあらかじめ登録されています。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」→[≡]→「新規APN」

2 「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」

3 「APN」→アクセスポイント名を入力→「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

5 [≡]→「保存」

- MCC、MNC の設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、設定リセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 [≡]→「設定リセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 **ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」**

2 **「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」の◉（グレー）をタップして◉（緑）にする**
mopera Uが利用するアクセスポイントとして設定されます。

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

文字を入力する

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
文字入力用のキーボードには、以下の3種類があります。

- Swype（日本語不可）
- Samsung keypad（日本語不可）
- Samsung日本語キーボード

お知らせ

- Swype（日本語不可）、Samsung keypad（日本語不可）では、日本語を入力できません。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。
- 「入力方法」（P.38）でSamsung keypad（日本語不可）またはSwype（日本語不可）を選択している場合は、ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「端末情報」→「システムガイド」をタップすると、選択中のキーボードの使いかたを確認できます（英語で表示されます）。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中に文字入力欄をロングタッチする

2 「入力方法」

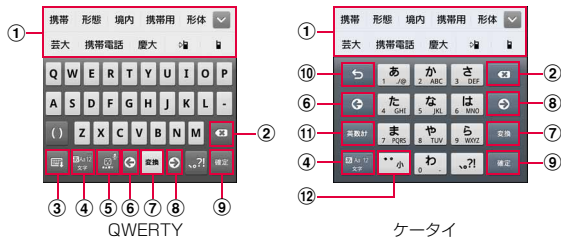
3 利用したい入力方法をタップする

お知らせ

- 文字入力欄をタップしたときに表示されるキーボードの種類は、ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法を選択」であらかじめ設定できます。

Samsung日本語キーボードで入力する

Samsung日本語キーボードは、「QWERTY」と「ケータイ」の2種類のキーボードを利用できます。

- QWERTY：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。
- ケータイ：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップします。

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
  - 予測変換をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
  - ［∨］をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。［∧］をタップすると、元の表示に戻ります。

② カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

③ キーボードを非表示にします。ディスプレイの文字入力部分をタップすると再び表示されます。

④ 文字入力モードを切り替えます（P.39）。

⑤ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
- タブをタップして一覧を切り替えます。
- 「文字」をタップすると、キーパッドを表示します。
- をタップすると、音声で文字を入力できます。

⑥ カーソルを左に移動します。
⑦ 通常変換候補を表示します。
- が表示されている場合は、タップするとスペースを入力できます。

⑧ カーソルを右に移動します。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合などにタップします。
- ワイルドカード予測をONにしている場合は、タップしてワイルドカード予測（P.40）を利用できます。

⑨ 入力した文字を確定します。
- が表示されている場合は、タップすると改行します。
- 「次へ」が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。

⑩ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。
⑪ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は（絵文字／記号／顔文字切替）が表示されます。

⑫ 文字を大文字／小文字に切り替えます。
- 全角／半角英字入力モードの場合は「A／a」と表示されます。

お知らせ
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi 接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中にをロングタッチする

2 「ケータイ」／「QWERTY」

文字入力モードを切り替える

1 キーボード表示中にをロングタッチする

2 利用したい文字入力モードをタップする

文字入力モードを切り替えると、キーの表示が次のように変わります。

：漢字ひらがな入力モード
：全角カタカナ入力モード
：半角カタカナ入力モード
：全角英字入力モード
：半角英字入力モード
：全角数字入力モード
：半角数字入力モード

お知らせ
- をタップしても、タップするごとに「漢字ひらがな入力モード」→「半角英字入力モード」→「半角数字入力モード」の順に切り替えられます。
- 利用するアプリケーションや機能によっては、操作2で掲載のキー以外が表示される場合があります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 予測変換とワイルドカード予測をONにしている場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力する

2 ⊙を4回タップする

入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

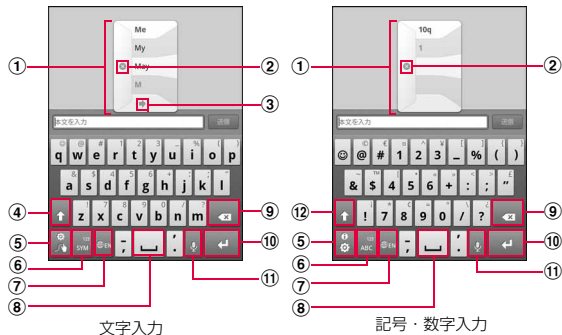
読みの文字数を変更する場合

⊙／⊙をタップします。

3 「東京都」

Swype（日本語不可）で入力する

キーボードから指を離さずに、入力したい文字列の順に目的のキー上をスライドして文字を入力できます。例えば「fun」と入力する場合は、キーを「f」→「u」→「n」の順にスライドします（文頭などでは、先頭文字が自動的に大文字になる場合があります）。

- 日本語は入力できません。
- 入力したいキーをタップしても、文字や記号を入力できます。

① 入力候補が複数ある場合に表示され、候補をタップすると文字を入力できます（約10秒経過すると自動的に一番上の候補が入力されます）。
  - Word predictionをONに設定すると、キーをタップした際に予測変換候補が表示されます。

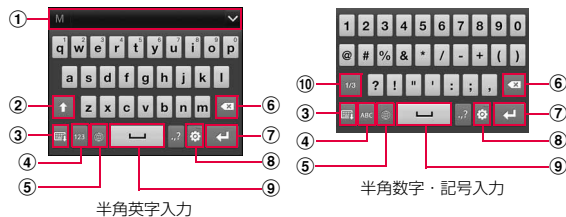
② 入力候補を閉じます。
③ 前後の入力候補に切り替えます。
④ 大文字と小文字を切り替えます。
⑤ チュートリアルやヘルプを表示したり、Swype（日本語不可）の設定を変更したりできます（チュートリアルやヘルプ、設定は英語で表示されます）。
⑥ 文字種を文字入力／記号・数字入力に切り替えます。
⑦ 入力言語を変更します。ロングタッチするとリストから入力言語を選択できます。
⑧ スペースを入力します。
⑨ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑩ 改行します。
⑪ 音声で文字を入力します。
⑫ 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ

- 初めてSwype（日本語不可）のキーボードを表示した場合はTips（お知らせ）が表示され、チュートリアルやヘルプの確認、Swype（日本語不可）の設定ができます（チュートリアルやヘルプ、設定は英語で表示されます）。
- 各キーの上部に表示されている記号や数字などは、キーをロングタッチして入力できます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi 接続ではご利用になれない場合があります。

Samsung keypad（日本語不可）で入力する

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを利用して、文字を入力できます。

- 日本語は入力できません。

半角英字入力　　半角数字・記号入力

① XT9をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- ⌄をタップすると、予測変換候補／通常変換候補を全画面表示できます。⌃をタップすると、元の表示に戻ります。

② 大文字と小文字を切り替えます。

③ キーボードを非表示にします。ディスプレイの文字入力部分をタップすると再び表示されます。

④ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。

⑤ 入力言語を変更します。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 改行します。
- 「Next」が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。

⑧ Samsung keypad（日本語不可）の設定画面を表示します。
- ロングタッチすると、入力方法を切り替えられます。

⑨ スペースを入力します。

⑩ 記号などの種類を切り替えます。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

メニューを利用する

1 キーボード表示中に文字入力欄をロングタッチする

2 利用したい項目をタップする

項目	説明
テキスト選択	文字列を語句の単位で選択します。選択範囲は、と で囲まれ、同時に表示される吹き出し画面の「コピー」「切り取り」「貼り付け」から操作を選択します。
全て選択	文字列全体を選択します。選択後の表示や操作は、「テキスト選択」と同じです。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
入力方法	キーボードの種類を切り替えます（P.38）。

アイコンを利用する

1 キーボード表示中に文字入力欄をタップする

が表示されます。をドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 →利用する項目をタップする

項目	説明
テキスト選択	文字列を語句の単位で選択します。選択範囲は、とで囲まれ、同時に表示される吹き出し画面の「コピー」「切り取り」「貼り付け」から操作を選択します。
全て選択	文字列全体を選択します。選択後の表示や操作は、「テキスト選択」と同じです。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーボードの設定を行う

Samsung日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で→「設定」→「言語と文字入力」→「Samsung日本語キーボード」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
フリック入力	キーボードを「ケータイ」にして入力する際、フリック方式で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 ONにすると、キーに触れると入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます。 • 日本語入力時のみ有効です。
フリック感度（低⇔高）	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
トグル入力	キーをタップして文字を入力する際にトグル入力できるようにするかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたとき、FOMA端末を振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたとき、タップしたキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
音声入力	音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
予測変換	予測変換をONにするかどうかを設定します。

項目	説明
入力ミス補正※	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
ワイルドカード予測※	ワイルドカード予測（P.40）を利用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録します。
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録します。 •「読み」は小文字で入力してください。
連絡先データ読み込み	電話帳に登録されている名前を予測辞書に追加します。 •「ヨミガナ」を入力する必要があります。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーボードのバージョンを確認します。

※：予測変換がOFFの場合は設定できません。

Swype（日本語不可）の設定を行う

Swype（日本語不可）を利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「言語と文字入力」→「Swype（日本語不可）」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
Language	入力言語を設定します。
Keypad size	画面を横向きにしたときのキーボードのサイズの大／小を設定します。
Word prediction	キーをタップした際の予測変換をONにするかどうかを設定します。
Audio feedback	文字を入力したときに入力音を鳴らすかどうかを設定します。
Vibrate on keypress	キーをタップしたとき、FOMA端末を振動させるかどうかを設定します。
Auto-spacing	自動的にスペースを挿入するかどうかを設定します。
Auto-capitalization	文章の先頭に入力した単語の文頭を、大文字にするかどうかを設定します。
Show complete trace	指でスライドした軌跡を表示し続けるかどうかを設定します。
Word choice window	入力候補が表示される確率を設定します。
Speed vs. accuracy	文字を入力する際の反応速度を設定します。
Swype help	Swype（日本語不可）のヘルプを表示して、使いかたや設定方法などを確認します。
Tutorial	Swype（日本語不可）のチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。
Version	Swype（日本語不可）のバージョンを確認します。

お知らせ

- キーボード表示中に[アイコン]（または[アイコン]→[アイコン]）→「Options」をタップしても、Swype（日本語不可）の設定ができます。
- ヘルプやチュートリアルは英語で表示されます。

Samsung keypad（日本語不可）の設定を行う

Samsung keypad（日本語不可）を利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 **ホーム画面で →「設定」→「言語と文字入力」→「Samsung keypad（日本語不可）」**

2 **設定したい項目をタップする**

項目		説明
Input language		入力言語を設定します。
XT9		XT9（予測変換）をONにするかどうかを設定します。
XT9 advanced settings※	Word completion	Word completion pointで設定した数の文字を入力したとき、単語などの予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	Word completion point	予測変換候補を表示するポイント（文字数）を設定します。
	Spell correction	入力を間違えたとき、自動的に正しいスペルに修正するかどうかを設定します。
	Next word prediction	入力を確定した単語などに続くと予測される語句の候補を、表示するかどうかを設定します。
	Auto-append	XT9の辞書にない単語を入力したとき、XT9 my wordsに自動的に追加するかどうかを設定します。
	Auto-substitution	XT9 auto-substitutionで登録したショートカットを入力したとき、自動的に代替に登録した単語などに変換するかどうかを設定します。
	Regional correction	間違ったキーをタップして単語を入力したとき、タップしたキー周辺の文字を考慮して、正しい単語を予測変換候補に表示するかどうかを設定します。
	Recapture	予測変換候補から単語を選択して入力を確定したとき、を2回タップして変換をやり直せるようにするかどうかを設定します。
	XT9 my words	XT9に単語などを登録します。
	XT9 auto-substitution	XT9に自動変換する単語などを登録します。
Automatic full stop		スペースを2個連続で入力した際に、自動的にピリオド+スペースに変換するかどうかを設定します。
Auto-capitalization		文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
Voice input		音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。
Tutorial		Samsung keypad（日本語不可）のチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。

※：XT9がOFFの場合は設定できません。

お知らせ

- キーパッドを表示中に⚙をタップしても、Samsung keypad（日本語不可）の設定ができます。
- チュートリアルは英語で表示されます。

Google Playを利用する

Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です(P.47)。

アプリケーションをインストールする

1 **ホーム画面で「Playストア」**

Google Playを初めて開くと利用規約が表示されるので、「同意する」をタップします。

2 **ダウンロードしたいアプリケーションを検索し、タップする→詳細を確認する**

3 **無料アプリケーションの場合は「ダウンロード」→「同意してダウンロード」、有料アプリケーションの場合は金額欄をタップ→「次へ」→「同意する」→画面の指示に従って操作する**

ダウンロードとインストールが完了したら、ステータスバーに☑が表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

アプリケーションを購入する場合

支払い方法について詳しくは▭→「ヘルプ」をタップしてGoogle Playヘルプをご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば削除と返金要求ができます。詳しくは▭→「ヘルプ」→「Androidアプリ」→「アプリケーションの購入」をタップしてGoogle Playヘルプをご覧ください。

ドコモマーケットを利用する

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

ドコモマーケットを開く

1 **ホーム画面で「ドコモマーケット」**

ブラウザが起動し、「ドコモマーケット」が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- ドコモマーケット（以下「本サイト」といいます）のご利用には、パケット通信（3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- 本サイトへの接続および本サイトで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- 本サイトで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- 本サイトで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本サイトで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関して当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

Samsung Appsを利用する

Samsung Appsを利用して、Samsung社のおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsを開く

1 ホーム画面で「アプリ」→「Samsung Apps」

Samsung Appsを初めて開くと免責条項が表示されるので、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロードする

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはSamsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションのダウンロードを許可する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

- ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのFOMA端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「アプリケーション」

2 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける→「OK」

ダウンロードしたアプリケーションの情報を表示する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「アプリケーション」→「アプリケーション管理」

2 「サードパーティ」タブ→アプリケーションをタップする

アプリケーションを強制停止する

1 アプリケーションが応答しないというポップアップウィンドウが表示されたときには、「強制停止」をタップする

お知らせ

- アプリケーションを強制停止したくないときには、「キャンセル」をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

アプリケーションのすべてのデータを消去する／アプリケーションを削除する

- 消去／削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「アプリケーション」→「アプリケーション管理」

2 タブを選択する→アプリケーションをタップする

3 「データを消去」／「アンインストール」→「OK」

お知らせ

- Google Playからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

mixiやTwitterなどのアカウントを設定する

Facebook、Twitter、MySpace、Google、mixiなどオンラインサービスのアカウントを設定し、FOMA端末と各種サービスのサーバとの間でデータの同期や送受信ができます。
同期機能のあるアカウントの場合、一度同期を行うとFOMA端末はウェブに接続された状態になり、ウェブ上の情報が更新されると自動的に同期が開始され、電話帳の連絡先詳細画面（P.86）から更新情報を確認できます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2007（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- FOMA端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- 各アカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
  - Facebookアカウント：http://www.facebook.com/
  - Twitterアカウント：http://www.twitter.com/
  - MySpaceアカウント：http://www.myspace.com/
  - Googleアカウント：http://www.google.co.jp/
  - mixiアカウント：http://mixi.jp/
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

同期の設定を行う

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「アカウントと同期の設定」

2 設定したい項目にチェックを付ける

項目	説明
バックグラウンドデータ	FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。
自動同期	Gmailやカレンダー、連絡先などGoogleアプリケーションのデータが自動的に同期します。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「アカウントと同期の設定」

2 「アカウント追加」→追加したいアカウントの種類をタップする

Exchangeサーバとデータの同期･転送を行うためのExchangeアカウントを設定する場合は、「Exchange」をタップします。

3 画面の指示に従って設定する

FacebookやMySpaceなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、「アカウントと同期の設定」画面でアカウントをタップ→同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、「アカウントと同期の設定」画面で同期させるアカウントをタップ→[メニュー]→「今すぐ同期」をタップします。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、FOMA端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「アカウントと同期の設定」

2 削除したいアカウントをタップする→「アカウント削除」

お知らせ

- 1つ目のGoogleアカウントなど、登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。
- Googleアカウントを削除するには、「システムメモリを初期化」（P.107）を実行してください。

相手に自分の電話番号を通知する

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 圏外では発信者番号通知設定の操作は行えません。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」

2 「開始」→「OK」

- 電話番号を非通知に設定するには、「停止」→「OK」をタップします。
- 現在の設定を確認するには、「設定確認」をタップします。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「端末情報」→「ステータス」

「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使うための準備

本FOMA端末では、パケット通信（3G／GPRS）またはWi-Fiによる接続で、ウェブブラウザを利用できます。

ウェブページを表示するまでの流れ

■ パケット通信で接続する

ステップ1：プロバイダに加入する
ステップ2：アクセスポイントを設定する（P.36）
ステップ3：ウェブブラウザでウェブページを表示する（P.50）

■ Wi-Fiで接続する

ステップ1：利用形態を決める

- 公衆無線LANサービス／社内LANに接続する場合は、サービス提供者／ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、接続に必要な情報を入手してください。
- 家庭内など個人環境で接続する場合は、アクセスポイントを設置し、設置したアクセスポイントの取扱説明書などから接続に必要な情報を入手してください。

ステップ2：Wi-Fiの設定を行う（P.90）
ステップ3：ブラウザでウェブページを表示する（P.50）

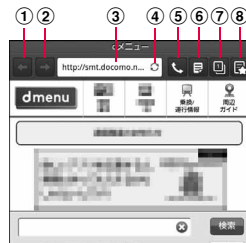
ウェブブラウザを使用する

ウェブブラウザを使って、インターネットの携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はドコモマーケット（http://www.dcm-gate.com））が表示されます。

ブラウザ画面

① 戻るボタン
直前に表示していたウェブページに戻ります。

② 進むボタン
戻るボタンをタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに進みます。

③ アドレスバー
ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

④ 更新ボタン
ウェブページの情報を更新／更新を停止します。

⑤ 電話ボタン
キーパッド画面（P.66）を表示します（一部、機能が制限されます）。

⑥ メモボタン
メモまたはスケッチメモを利用できます（一部、機能が制限されます）。

⑦ **ウィンドウ切り替え／追加ボタン**
複数のウィンドウでウェブページを開いているとき、ウィンドウを切り替えます。[+]をタップすると、新しいウィンドウ（最大6枚）でウェブページを開きます。

⑧ **ブックマーク／履歴ボタン**
ブックマークの一覧（P.52）／履歴の一覧（P.52）を表示します。

ウェブブラウザを終了する

1 [ホーム]をロングタッチ→「タスクマネージャ」→「ブラウザ」の「終了」

- ブラウザ画面で[ホーム]をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。また、[戻る]をタップしてホーム画面に戻っても終了しない場合があります。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップする
  - スクロール：スクロール／フリックする
  - 前の画面に戻る：[戻る]をタップする
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチする（文字がたくさんある箇所でのみ使用可能）
  - テキストのコピー：画面をロングタッチ→コピーしたい単語部分で指を離す→「コピー」をタップする
  - テキストの検索：画面をロングタッチ→検索したい単語部分で指を離す→「検索」→検索方法を選択する
  - テキストの共有：画面をロングタッチ→共有したい単語部分で指を離す→「共有」→共有方法を選択する
- 表示中のウェブページがRSSフィードを提供しているとき、アドレスバーに[RSS]が表示されます。[RSS]をタップすると、RSSフィードをGoogleリーダーに追加できます（Googleアカウントの設定が必要です）。

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチする

2 利用したい項目をタップする

項目	説明
開く※	ウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
URLをコピー	URLをコピーします。
リンクをブックマークに追加	URLをブックマークに追加します。
リンクを保存	ウェブページをFOMA端末／microSDカードに保存します。
リンクを共有	URLをBluetooth通信／Eメール／Gmail／SMSなどで送信します。
画像を保存	画像をFOMA端末／microSDカードに保存します。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙に設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

※：ウィンドウを6枚開いている場合に表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
ブックマーク登録		URLをブックマークに追加します。
ページ内を検索		ウェブページ内のテキストを検索します。
ダウンロード履歴		ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
明るさ調整		画面の明るさを設定します。
設定		ウェブブラウザの設定を行います（P.53）。
その他	印刷	Wi-Fiを利用して接続したプリンタでウェブページ／画像を印刷します。 • 2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。
	ページを共有	ウェブページのURLを、Bluetooth通信／Eメール／Gmail／SMSなどで送信します。
	ページ情報	ウェブページのURLを表示します。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で[ブックマーク]→「よく見るページ」タブ／「履歴」タブ

履歴の一覧が表示されます。
- 「よく見るページ」タブには、閲覧回数の多い順に履歴が表示されます。
- 「履歴」タブには、閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- 履歴の☆（グレー）をタップすると、ブックマークに追加できます。ブックマークに追加済みの履歴には★（黄）が表示されます。

2 表示したいウェブページをタップする

お知らせ
- 履歴の一覧で「消去」をタップすると、履歴をすべて削除できます（「履歴」タブと「よく見るページ」タブ両方の履歴が消去されます）。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ブラウザ画面でブックマークに追加するウェブページを表示[メニュー]→「ブックマーク登録」

2 名前を確認／変更→[▼]→登録したいフォルダをタップ→「OK」

[▼]をタップして「新規フォルダ」をタップすると、フォルダを登録できます。

ブックマークからウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で[ブックマーク]→「ブックマーク」タブ

ブックマークの一覧が表示されます。

2 表示したいフォルダ→ウェブページをタップする

お知らせ
- ブックマークの一覧で「追加」をタップすると、ブックマークを追加できます。
- ブックマークの一覧で「編集」をタップすると、ブックマークの編集や削除、フォルダの作成ができます。

■ 履歴／ブックマークのメニュー

履歴／ブックマークをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新規ウィンドウで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマーク登録※1	ブックマークに追加します。
ブックマークから削除※1	ウェブページがブックマークに追加されている場合に、ブックマークから削除します。
ホームへのショートカットを追加※2	ブックマークのショートカットをホーム画面に追加します。
リンクを共有※2	ウェブページのURLを、Bluetooth通信／Eメール／Gmail／SMSなどで送信します。
URLをコピー※2	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から削除※1	ウェブページを履歴から削除します。
ホームページとして設定※2	ウェブページをホームページとして設定します。
ブックマークを削除※2	ブックマークを削除します。

※1：履歴の一覧でのみ表示されます。
※2：ブックマークの一覧でのみ表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ブラウザ画面で［メニュー］→「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
全体表示で開く	新しく開いたページを全体表示させるかどうかを設定します。
文字コード	文字エンコードを設定します。
ポップアップブロック	ポップアップウィンドウをブロックします。
画像を読み込む	画像表示の有無を設定します。
ページの自動調整	画面サイズに合わせてページを表示します。
常に横画面表示	ページを常に横表示にします。
JavaScriptを有効	JavaScriptを有効にします。
プラグインを有効	プラグインを有効にします。
バックグラウンドで開く	新規ウィンドウを表示中のウィンドウの後ろに表示します。
ホームページを設定	ホームページを設定します。
保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
キャッシュ消去	キャッシュデータを消去します。
履歴消去	閲覧履歴を消去します。
Cookie許可	Cookieの保存・読み取りを許可します。
Cookie消去	保存されたCookieを消去します。
文字入力履歴を保存	ページに入力した文字情報を記憶させます。
文字入力履歴を消去	保存された文字情報を消去します。
位置情報を有効	FOMA端末の位置情報へのアクセスを許可します。
保存された位置情報を消去	FOMA端末の位置情報を消去します。

次ページへ続く

項目	説明
パスワードを保存	ページに入力したユーザー名・パスワードを記憶させます。
パスワードを消去	記憶されたユーザー名・パスワードを消去します。
セキュリティ警告を表示	ページの安全性に問題がある場合に警告を表示します。
検索エンジンを設定	アドレスバーに検索したいキーワードを入力したときに利用する検索エンジン（サイト）を設定します。
サイト設定	位置情報にアクセスしたページなどの詳細情報を表示します。
設定リセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザをお買い上げ時の状態に戻します。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

位置情報を有効にする

- 位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、あらかじめ GPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fi／モバイルネットワークを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」

2 検出する方法にチェックを付ける

すべてを有効にすることもできます。

項目	説明
ワイヤレスネットワーク	Wi-Fi／モバイルネットワークで位置情報を検出できます。
GPS機能	より精度の高い位置情報を検出できます。ただしFOMA端末の電池消費量が大きくなります。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを開く

1 ホーム画面で「マップ」

初めて起動したときは「マップの新機能」画面が表示され、「OK」をタップするとマップが表示されます。

Google Latitudeで所在地を確認する

地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりすることもできます。

● 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する／Latitudeを開く

1 ホーム画面で「アプリ」→「Latitude」

• Google マップで地図を表示中の場合は、[メニュー]→「Latitudeに参加」／「Latitude」をタップします。

2 [メニュー]→「地図を表示」

お知らせ

• Latitudeの詳細については、Latitudeの画面で[メニュー]→「地図を表示」→[メニュー]→「その他」→「ヘルプ」→「Latitude」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

Googleマップナビを利用する

目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。

● 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保障もいたしませんので、あらかじめご了承ください。

● 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

ナビゲーションを開始する

1 ホーム画面で「アプリ」→「ナビ」→「目的地を入力」

• 初めて起動した場合は、ご利用の注意画面が表示されます。「同意する」をタップすると目的地の選択画面が表示されます。

• 「目的地を音声入力」「連絡先」などをタップして目的地を音声入力したり、電話帳に登録されている住所などを利用したりすることもできます。

2 目的地の地名などを入力→[検索]

ナビゲーションが開始されます。

ナビゲーションを終了する

1 ナビゲーション中の画面で[メニュー]→「ナビの終了」

• ナビゲーション中の画面で[ホーム]をタップしてホーム画面に戻っても、ナビゲーションは終了しません。

ウェブ接続

次ページへ続く

お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、ナビゲーション中の画面で[メニュー]→「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

プレイスを利用する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランやアトラクションなどを検索できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「プレイス」→検索したいカテゴリ→確認したい情報をタップする

検索したいカテゴリがない場合は、画面上部のキーワード入力欄に検索したいカテゴリや店名などを入力します。
カテゴリを追加する場合は「追加」→カテゴリなどを入力→「追加」をタップします。

いつもNAVI（地図）を利用する

位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたりできる便利なアプリケーションです。

1 ホーム画面で「アプリ」→「いつもNAVI（地図）」

初めて起動した場合は、利用規約画面が表示され、「同意する」をタップすると地図が表示されます。

2 [現在地]

現在地の地図が表示されます。
特定の場所の地図を表示する場合や、渋滞情報を見るなどの操作を行う場合は、[メニュー]→利用したい項目をタップします。

YouTubeを利用する

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で「アプリ」→「YouTube」

初めて起動した場合は利用規約画面が表示されます。リンク先の利用規約を確認し、「同意する」をタップするとYouTubeのホーム画面が表示されます。

2 再生したい動画をタップする

動画が再生されます。

画面をタップすると一時停止／再生開始の切り替えができます。一時停止中は[一時停止]が表示されます。

画面をダブルタップまたはFOMA端末を横画面にすると、再生画面を拡大できます。拡大時には以下のアイコンが表示されます。

[スライダー]：左右にドラッグして巻き戻し／早送りができます。

[HQ]（グレー）／[HQ]（白）：タップして高画質（HQ）再生のオン／オフを設定できます。

動画を投稿する

FOMA端末から自分で撮影した動画を投稿できます。

- YouTubeに動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 YouTubeのホーム画面で[メニュー]→「アップロード」

動画を撮影する場合

YouTubeのホーム画面で[カメラ]→動画を撮影→「保存」をタップして、操作3へ進みます。

2 ギャラリーで投稿する動画をタップする

アップロードの詳細画面が表示されます。

YouTubeにログインしていない場合

表示されたログイン画面でユーザー名とパスワードを入力→「ログイン」をタップします。

3 必要な項目を入力・設定→「アップロード」

動画がアップロードされます。

Webサーバと同期する

SyncML※対応の同期サービスを利用して、FOMA端末に保存した電話帳やカレンダー、メモのデータを、指定したWebサーバなどと同期できます。

※：Open Mobile Allianceによって策定された携帯電話などの端末とパソコンを同期させるためのオープン規格。

- 同期プロファイルに入力する情報など、詳細についてはサービス提供者にお問い合わせください。

同期の設定を行う

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「サーバーと同期」→「同期プロフィール作成」→各項目を入力・設定→「保存」

同期を開始する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「サーバーと同期」→プロフィール名をタップ→「同期開始」

Daily Briefingを利用する

今日の気象情報やファイナンス、ニュース、スケジュールを表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Daily Briefing」

画面を左右にスクロール／フリックして、確認したい情報を切り替えます。

初めてDaily Briefingを起動した場合

気象情報やファイナンスの表示中に[+]をタップすると、表示する地域や銘柄を設定できます。ニュースの表示中に画面をタップすると、ニュースが表示されます。

- 気象情報の都市名を検索する際は、英語で入力してください。
- 都市名の検索時に「現在の場所」をタップすると、現在の位置情報を検索して自動的に設定します。

お知らせ

- [更新]をタップすると、各情報を更新できます。
- スケジュールの表示中に[+]をタップすると、スケジュールを作成できます。
- 気象情報やファイナンスで表示する地域、銘柄を追加／削除するには、[+]→「追加」／「削除」をタップします。
- [メニュー]→「設定」→各項目をタップすると、自動更新などの詳細設定ができます。

ニュースと天気を利用する

現在地周辺の気象情報や、ニュースを表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ニュースと天気」

画面を左右にスクロール／フリックして、確認したい情報を切り替えます。

お知らせ

- 天気とニュースの画面で[メニュー]をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「更新」：各情報を更新できます。
  - 「設定」：天気予報やニュースの設定、更新設定、アプリケーションのバージョン確認ができます。

共同通信ニュースNEWSmartを利用する

共同通信社などが配信する10大ニュースを表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「共同通信ニュースNEWSmart」→「一般」／「スポーツ」→読みたい項目をタップ

- 写真が表示されたときは、タップすると拡大表示できます。

お知らせ

- 共同通信ニュースNEWSmartの画面で[≡]→「最新のニュースに更新」をタップすると、最新のニュースに更新できます。

Pulseを利用する

登録されたWebサイトから自動的に最新の情報を取得してリスト表示します。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Pulse」

Pulseに登録されているWebサイトの情報が行ごとにリスト表示されます。

- お買い上げ時は、最上段にPulseの使用方法についての説明(HINTS)が表示されます（英語のみ)。

2 閲覧したい情報をタップする

お知らせ

- Pulseの情報のリスト表示画面で[≡]をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「更新」：リスト表示の情報を最新に更新します。
  - 「ソースを管理」：情報を取得するサイトを選択します。
  - 「設定」：画面表示や情報取得の更新間隔、条件などを設定できます。
  - 「既読の記事を隠す」／「すべて表示」：リスト表示内の既読情報を表示するかどうかを設定します。

Evernoteを利用する

EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。

- 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
- 初めてご利用される際には、Google Play（P.45）からEvernoteアプリケーションをダウンロードする必要があります。
- アプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Evernote」

「Evernoteの詳しい情報はこちら」をタップすると、Evernoteのサイトで詳しい情報を見ることができます。

2 「Evernote for Androidをダウンロードする」→画面の指示に従ってEvernoteをインストールする

インストールが完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。

3 ステータスバーを下方向にスクロール→「Evernote」

4 ユーザー名とパスワードを入力→「サインイン」

お知らせ

- Evernoteの詳細については、Evernoteのサイトをご覧ください。

メールを送受信する

SMSについて

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「SMS」**

スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 **[アイコン]**

SMS作成画面が表示されます。

3 **宛先に送信先の携帯電話番号を入力する**

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（ , ）で区切ります。
- [アイコン]をタップして、履歴や電話帳、電話帳のグループなどから宛先を選択して入力できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 入力した宛先を削除／修正／電話帳に登録する場合は、宛先をタップ→「宛先から削除」／「宛先を編集」／「電話帳に追加」をタップします。

4 **「本文を入力」欄をタップ→本文を入力する**

登録済みのデータを引用する場合

[メニュー]→「テキストのインポート」をタップします。

スマイリーを入力する場合

[メニュー]→「スマイリー挿入」→入力したいスマイリーをタップします。

5 **「送信」**

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示されていない状態で[戻る]をタップします。

お知らせ

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。

受信したSMSを確認する

1 **ホーム画面で「アプリ」→「SMS」**

スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 **読みたいスレッドをタップする**

SMS一覧画面が表示されます。

- 受信SMSは黄色の吹き出し、送信SMSは黄緑色の吹き出しで表示されます。

SMSを削除する場合

[削除]→削除したいSMSにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

メール／電話

次ページへ続く

お知らせ

- SMSを受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- 画面を横表示にしている場合は、画面の左側にスレッド一覧、右側にSMS一覧が表示されます。

スレッド一覧画面／SMS一覧画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
スレッドを削除※1		スレッドを削除します。
明るさ調整		画面の明るさを設定します。
設定※1	自動削除	SMSが「最大SMS件数」で設定した件数に達したとき、自動的に削除するかどうかを設定します。
	最大SMS件数	「自動削除」にチェックを付けたとき、SMSの最大件数を設定します。
	配信確認	送信するSMSの送達通知を毎回要求するかどうかを設定します。
	SIMカード保存SMS	ドコモUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・FOMA端末にコピーします。
	SMSセンター	SMSセンターを設定します。 • 通常は設定を変更する必要はありません。
	有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
	通知	SMSを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
	着信音	SMSを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
スマイリー挿入※2		スマイリーを挿入します。
テキストのインポート※2		登録済みのデータを引用します。
転送※2		SMSを転送します。
発信※2		スレッドの電話番号に電話をかけます。
その他※2	文字サイズ	SMSの文字サイズを変更します。
	破棄	作成中のSMSを削除します。

※1：スレッド一覧画面でのみ表示されます。
※2：SMS一覧画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 画面を横表示にしている場合は、項目の表示方法が異なります。

スレッド／SMSのメニュー

スレッド／SMSをロングタッチすると次の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先表示※1	スレッドの相手が電話帳に登録されている場合に登録情報を表示します。
電話帳に追加※1	スレッドの相手を電話帳に登録します。
再送信※2	送信失敗したSMSを再送信します。
削除	スレッド／SMSを削除します。
転送※2	SMSを転送します。
本文をコピー※2	SMSの本文をコピーします。
SIMにコピー※2	SMSをドコモUIMカードにコピーします。
編集※2	送信失敗したSMSの本文を編集します。

項目	説明
保護設定／保護解除※2	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
詳細※2	タイプ、発信元／宛先、送受信日時、送達通知（配信確認）を表示します。

※1：スレッドをロングタッチしたときのみ表示されます。
※2：SMSをロングタッチしたときのみ表示されます。

お知らせ

- SMSはドコモUIMカードに20件までコピーできます。

Eメールを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールを使用するまでの流れ

■ パケット通信で接続する

ステップ1：プロバイダに加入する
ステップ2：アクセスポイントを設定する（P.36）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.61）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.62）

■ Wi-Fiで接続する

ステップ1：利用形態を決める

- 公衆無線LANサービス／社内LANに接続する場合は、サービス提供者／ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、接続に必要な情報を入手してください。
- 家庭内など個人環境で接続する場合は、アクセスポイントを設置し、設置したアクセスポイントの取扱説明書などから接続に必要な情報を入手してください。

ステップ2：Wi-Fiの設定を行う（P.90）
ステップ3：Eメールアカウントを設定する（P.61）
ステップ4：Eメールを作成して送信する（P.62）

お知らせ

- パソコンや他の携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。
- FOMA端末でEメールを送受信するとEメールのサーバと同期が行われ、「受信トレイ」など同期するように設定されている項目は、同期時のサーバと同じ状態になります。

ご利用料金について

- Eメールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で「Eメール」

2件目以降のメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で「Eメール」→[メニュー]→「アカウント管理」→「アカウント追加」をタップします。

次ページへ続く

2 メールアドレス、パスワードを入力→「次へ」

Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力→「手動設定」→画面の指示に従って設定します。

3 アカウント名、ユーザー名を入力→「完了」

Eメールアカウントを管理する

1 ホーム画面で「Eメール」

Eメール一覧画面が表示されます。

2 [メニュー]→「アカウント管理」

Eメールアカウント一覧画面が表示されます。

3 Eメールアカウント→設定したい項目をタップする

項目	説明
アカウント名	アカウント名を変更します。
ユーザー名	ユーザー名を変更します。
署名	署名を登録します。
新着メール自動確認	新着メールを確認する時間の間隔を変更します。
標準アカウント	通常のEメールアカウントとして使用するかどうかを設定します。 • チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントに✔が表示されます。
必ず自分にCc・Bccを送る	Eメールの送信時に、CcまたはBccに自分のEメールアドレスを入力して送信するかどうかを設定します。
Eメール通知	Eメールを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	Eメールを受信したときに鳴らす受信音を設定します。
バイブ設定	Eメールを受信したときにFOMA端末を振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバの設定を変更します。
送信設定	送信サーバの設定を変更します。
添付つきで転送	Eメールの転送時に添付ファイルも送信するかどうかを設定します。

お知らせ

- Eメール一覧画面左上のEメールアカウントをタップ→「全ての受信BOX」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメールアカウント一覧画面で「アカウントを削除」→削除したいEメールアカウントにチェックを付ける→「削除」をタップします。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で「Eメール」→画面左上のEメールアカウント→利用したいEメールアカウントをタップ→[作成]

Eメール作成画面が表示されます。

2 宛先に送信先のメールアドレスを入力する

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（ , ）で区切ります。
- Cc／Bccを追加する場合は、「Cc／Bcc」欄をタップします。
- をタップして、電話帳や電話帳のグループなどから宛先を選択して入力できます。
- 入力した宛先を削除／修正／電話帳に登録する場合は、宛先をタップ→「削除」／「編集」／「電話帳に追加」をタップします。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力する

4 メッセージ欄をタップ→メッセージを入力する

ファイルを添付する場合

「添付」→添付したいファイルをタップして選択します。

本文中に画像や文字、位置情報などを挿入する場合

「挿入」→挿入したい内容をタップして選択します。

5 「送信」

作成中のEメールを下書き保存する場合

→「下書きとして保存」をタップします。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で「Eメール」→画面左上のEメールアカウント→利用したいEメールアカウントをタップする

Eメール一覧画面が表示されます。

2 確認したいEメールをタップする

本文画面が表示されます。

／：前後のEメールに切り替えます。
：キーパッド画面（P.66）を表示します（一部、機能が制限されます）。
：メモまたはスケッチメモを利用できます（一部、機能が制限されます）。
：Eメールを他のフォルダ／Eメールアカウントに移動します。
：Eメールを削除します。
：Eメールを返信／転送します。
：Eメールを作成します。

お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーになどが表示されます。
- Eメール一覧画面上部の「受信トレイ」をタップすると、フォルダを切り替えられます。
- データが添付されている場合は本文画面にファイル名が表示され、ファイル名をタップすると添付データを確認できます。をタップすると、添付データをFOMA端末に保存できます。
- 複数のデータが添付されている場合は、→「全て保存」をタップして、一度にまとめて保存できます。
- 画面を横表示にしている場合は、ホーム画面で「Eメール」をタップすると、画面の左側にEメール一覧、右側に選択中のEメールの本文が表示されます。

次ページへ続く

■ Eメール一覧画面／本文画面のメニュー

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
削除※1	Eメールを削除します。
ソート※1	Eメールを日付、送信者、未読／既読、お気に入りの順に並べ替えます。
フォルダに移動※1	Eメールを他のフォルダ／Eメールアカウントに移動します。
表示モード※1	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
アカウント管理※1	Eメールアカウントの設定を変更します（P.62）。
明るさ調整	画面の明るさを設定します。
文字サイズ※2	文字サイズを変更します。
背景色※2	文字画面の背景色を変更します。
印刷※2	Wi-Fiを利用して接続したプリンタでEメールを印刷します。 • 2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。

※1：Eメール一覧画面でのみ表示されます。
※2：本文一覧画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 画面を横表示にしている場合は、項目の表示方法が異なります。
- Eメール一覧画面でEメールをロングタッチしても、Eメールの削除など、各種操作のメニューを表示できます。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®が使用できるほか、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→画面の指示に従ってspモードメールをインストールする

Gmailを利用する

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.48）。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で[メニュー]→「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

Googleトークを利用する

Googleトークを利用して、登録した相手とチャットができます。
- Googleトークを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.48）。

1 ホーム画面で「アプリ」→「トーク」

お知らせ

- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で［メニュー］→「設定」→「利用規約とプライバシー」→「Help Center」をタップして、Talk Helpをご覧ください（Talk Helpは英語で表示されます）。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本FOMA端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。
- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます（P.65）。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」

2 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 エリアメール画面で［メニュー］→「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		着信音の鳴動時間、マナーモード設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	利用するエリアメールの登録や削除を行います。

ソーシャルハブを使用する

ソーシャルハブとは、SMSやEメール、SNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションです。
ソーシャルハブからSMSやEメールの確認や送信、SNSの情報更新ができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Social Hub」

2 確認・利用したいアカウントをタップする

- SMSやEメールを送信するには「新規SMS／メール作成」をタップします。

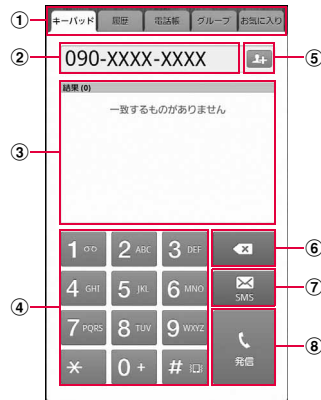
お知らせ

- SNSなどのアカウントを追加するには、[メニュー]→「アカウントと同期の設定」をタップします（P.48）。

電話を使用する

電話をかける

- 本FOMA端末には受話口がありません。ハンズフリー通話のみ可能です。マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などをお使いください（P.70）。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

キーパッド画面

① タブ
「キーパッド」タブ：キーパッド画面が表示されます。
「履歴」タブ（P.68）
「電話帳」タブ（P.83）
「グループ」タブ（P.84）
「お気に入り」タブ（P.83）

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **検索結果欄**
ダイヤルボタンをタップするごとに、電話帳や履歴から対応する候補と件数が表示されます。
- 電話帳の名前（半角英数字で登録している場合のみ）は１桁以上、電話番号は3桁以上入力すると、検索されます。

④ **ダイヤルボタン**
電話番号を入力します。

⑤ **電話帳登録ボタン**
入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。

⑥ **削除ボタン**
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、カーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

⑦ **SMSボタン**
SMSを作成・送信します（P.59）。

⑧ **電話発信ボタン**

2 相手の電話番号を入力する
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3 「発信」
通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ
- 本FOMA端末では、テレビ電話は利用できません。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に発信できません。
- １回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.49）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 通話中画面は、操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。またはを（音量大）／（音量小）を押すと、通話中画面を表示できます。
- 通話中画面では次の操作ができます。
  - 「保留」※／「保留解除」※：通話を保留／保留解除します。
  - 「通話を追加」※：別の相手に電話をかけます。
  - ：自分の声を相手に聞こえなくします。
  - ：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
  - 「最小化」：ホーム画面を表示します。ホーム画面で「電話」をタップすると、通話中画面に戻ります。

  ※：「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に（音量大）または（音量小）を押します。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

メール／電話

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

キーパッド画面／通話中画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
2秒停止を追加※1	「, 」を入力します。電話番号に続けて「, 」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加※1	「; 」を入力します。電話番号に続けて「; 」と番号を入力して発信すると、電話がつながって送信操作を行ったときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
電話帳※2	電話帳の登録情報の一覧を表示します。
メモ※2	メモを作成します。
Eメール※2	登録したEメールアカウントのEメール一覧画面を表示します。
Gmail※2	GmailのEメール一覧画面を表示します。

※1：キーパッド画面でのみ表示されます。
※2：通話中画面でのみ表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。
- SMSの送受信履歴も確認できます。

1 ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ
履歴画面が表示されます。
：着信／受信履歴　：発信／送信履歴
：不在着信履歴　：電話
：SMS

2 かけたい相手をタップする

3

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成などができます。

履歴画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
表示設定	表示する履歴の種類を切り替えます。
通話時間	通話時間を確認します。
履歴を削除	履歴を削除します。

履歴のメニュー

履歴をロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
通話	履歴の電話番号に電話をかけます。
SMS送信	SMSを送信します。
編集して発信	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
電話帳に追加	電話番号を電話帳に登録します。
電話帳を表示	電話帳に登録されている場合に電話帳の登録情報を表示します。
拒否リストに追加	「着信拒否」（P.73）の着信拒否リストに電話番号を追加します。
削除	履歴を削除します。

電話着信時の応答方法を設定する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「通話設定」→「応答設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
応答キー	［戻る］／［検索］をタップして応答できるようにするかどうかを設定します。
自動応答	電話が着信してから自動的に応答するまでの時間を設定します。 • FOMA端末にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）を取り付けている場合に動作します。

電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」

登録情報の一覧が表示されます。

お気に入り（P.83）を利用する場合

ホーム画面で「電話」→「お気に入り」タブをタップします。

2 発信したい相手をタップする

登録情報の詳細が画面の右側に表示されます。

3 電話番号をタップ→「通話」

国際電話（WORLD CALL）を利用する

- 海外での利用については、P.115以降をご覧ください。
- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

• イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 「発信」

3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 を表示される円の外側までドラッグする

着信拒否する場合

を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

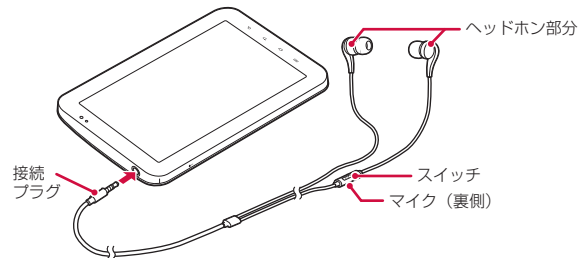
画面下部の「拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。
- 「SMS作成」をタップすると、SMSを作成できます。

お知らせ

- 拒否理由は、「着信拒否時にSMS送信」（P.73）で変更できます。
- 着信中にを押すか、（音量大）／（音量小）を1秒以上押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

FOMA端末にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグをFOMA端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- 接続プラグはヘッドホン接続端子の奥まで正しく差し込んでください。

■ マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

通話を保留／保留解除する場合

通話中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

• 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

2 通話が終了したら、再度スイッチを押す

お知らせ

• FOMA端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームはFOMA端末からも鳴ります。

各種音量を調節する

FOMA端末から鳴る以下の音の音量を調節します。

- 電話着信音量：電話着信時の着信音
- メディア再生音量：音楽などの再生音
- アラーム音量：各種アラーム音
- 操作音量：タッチ操作音や電源ON／OFF時の起動／終了音
- 通知音量：通知（P.22）があったときの通知音

1 ホーム画面で[MENU]→「設定」→「サウンド設定」→「音量」

音量バーが表示されます。

2 各音量バーの[つまみ]を左右にドラッグ→「OK」

■ 音量ボタンで着信音量を調節する

1 [音量大ボタン]（音量大）／[音量小ボタン]（音量小）を押す

お知らせ

• [音量小ボタン]（音量小）を押して着信音量を0にすると、マナーモード（P.72）がONに設定されます。

キーパッド使用時のタッチ操作音のオン／オフを設定する

1 ホーム画面で[MENU]→「設定」→「サウンド設定」→「タッチ操作音」にチェックを付ける／外す

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「＊」「2」「5」「2」「5」「1」を入力→「発信」

公共モード（電源OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際や機内モード設定中の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を解除する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「＊」「2」「5」「2」「5」「0」を入力→「発信」をタップします。

次ページへ続く

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「✱」「2」「5」「2」「5」「9」を入力→「発信」をタップします。

公共モード（電源OFF）に設定すると

「✱」「2」「5」「2」「5」「0」を入力し、「発信」をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音のメロディなどを設定したり、振動させるかどうかを設定したりします。

着信音／通知音を設定する

1 ホーム画面で［≡］→「設定」→「サウンド設定」→「電話着信音」／「通知着信音」

2 設定したい着信音／通知音をタップ→「OK」

「サイレント」を選択すると、着信音／通知音は鳴りません。

振動（バイブレーション）を設定する

1 ホーム画面で［≡］→「設定」→「サウンド設定」→「バイブ」→設定項目を選択する

電話から鳴る音を消す

マナーモードをONに設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ⦶を1秒以上押す

オプションメニュー画面が表示されます。

2 「マナーモード」

ステータスバーに▣が表示されます。

- お買い上げ時は、マナーモードをONに設定するとバイブレーションします。「バイブ」の設定を変更し、マナーモードと連動して振動しない設定になっている場合、ステータスバーには▣が表示されます。

マナーモードをOFFに設定する場合

⦶を1秒以上押し、「マナーモード」をタップします。

お知らせ

- ホーム画面で［≡］→「設定」→「サウンド設定」→「マナーモード」にチェックを付けても、マナーモードをONに設定できます。
- マナーモード設定中は、以下の項目が設定できません。
  - 音量
  - 電話着信音
  - 通知着信音
  - タッチ操作音
  - 選択時の操作音
  - スクリーンロック音
  - GPS通知

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本FOMA端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。
- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「通話設定」→「着信拒否時にSMS送信」→[≡]→「作成」

拒否メッセージを削除する場合
[≡]→「削除」→削除したい拒否メッセージにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

2 拒否メッセージを入力→「保存」

お知らせ
- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大30件まで登録できます。

1 ホーム画面で[≡]→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「着信拒否を有効」にチェックを付ける→「着信拒否リスト」

3 [≡]→「作成」

非通知の電話を拒否する場合
「非通知」にチェックを付けます。

登録した電話番号を修正する場合
修正したい電話番号をタップ→電話番号を修正→「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合
[≡]→「削除」→削除したい電話番号にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

4 拒否したい電話番号を入力→「保存」
- 電話帳から電話番号を引用する場合は、[電話帳アイコン]→「履歴」／「電話帳」→登録する相手をタップします。
- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

ギャラリーを利用する

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイルの種類と形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式
静止画	BMP、WBMP、GIF、AGIF、JPEG、PNG
動画	MPEG4、H.263、H.264（AVC）、WMV9、3GP、ASF、AVI、FLV、MKV

1 ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」

フォルダの一覧画面が表示されます。
をタップするとカメラが起動します。

2 フォルダをタップする

データの一覧画面が表示されます。画面右上の／をタップすると表示形式の切り替えができます。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップする

静止画が拡大表示されます。静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。
画面をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
／	表示を拡大／縮小します。
スライドショー※	フォルダ内の静止画／動画をスライドショーで表示します。画面をタップするとスライドショーが停止します。
メニュー	をタップして表示されるメニューと同じ操作ができます（P.74）。

※：動画のみのフォルダでは利用できません。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップする

動画再生アプリケーション（P.75）が起動し、動画の再生が開始されます。

ギャラリーのメニュー

フォルダ／データの一覧画面や表示画面でをタップすると、以下の操作メニューが表示されます。
- 動画の再生画面については動画のメニュー（P.75）をご覧ください。

項目	説明
共有	PicasaやYouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
削除	データを削除します。
その他	詳細の確認、壁紙や電話帳への登録、切り取り、Wi-Fiを利用して接続したプリンタでの印刷※、左右回転などの操作ができます。

※：2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。

動画を再生する

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている動画を簡単に再生できます。再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式／コーデック
MPEG4、H.263、H.264（AVC）、WMV9、3GP、ASF、AVI、FLV、MKV

1 ホーム画面で「アプリ」→「動画」

2 画面上部のタブをタップする

動画の一覧が表示されます。表示方法を「サムネイル」「リスト表示」に切り替えることができます。「フォルダ」をタップすると、動画が保存されているフォルダごとに分類表示されます。

3 動画をタップする

動画の再生が開始されます。
画面をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
☼	画面の明るさを調整します。
🔊	音量を調節します。
5.1ch	5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
▭／▭／▣	動画の表示サイズを切り替えます。
●	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
⏮／⏭	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
▶／❚❚	再生／一時停止します。
▮	動画の再生中に、お好みの位置をマーカーとして登録できます。

お知らせ

- 再生画面でスクリーンロックを設定すると🔒が表示され、画面をタップしても動作しないようにできます。

動画のメニュー

一覧画面や再生画面で ▤ をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

■ 一覧画面

項目	説明
ソート	一覧表示の順番を変更します。
共有方法を選択	YouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
削除	一覧表示から削除します。
次のビデオを自動再生	再生終了後に、次の動画ファイルの再生を自動的に開始するかどうかを設定します。

■ 再生画面

項目	説明
モザイク検索	全体の再生時間を6分割して表示します。タップするとその時間から再生できます。

次ページへ続く

項目	説明
共有方法を選択	YouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
マーカー表示	動画に登録されているマーカーの位置から再生します。
サブタイトル	字幕ファイル（拡張子：smi、sub、srt）のある動画の再生時に、字幕のオン／オフや詳細設定を行います。
詳細	データの詳細を確認します。

※ 利用できる機能はデータの種類や画面によって異なります。

DivX VODの登録キーを確認する

本FOMA端末でDivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、登録手続きが必要です。
登録に必要なコードは、以下の方法で確認できます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「端末情報」→「法定情報」→「ライセンス設定」→「DivX® VOD」→「登録」

登録コードが表示されます。

- 登録方法などの詳細については、http://vod.divx.com をご覧ください。

音楽を再生する

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている音楽を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
mp3、m4a、wma、ogg、oga、aac、3ga、flac、mpga、mp4、3gp_a、3g2_a、asf_a、3gpp_a、mxmf

※ 以下の形式のファイルは、本アプリケーションの「全て」タブ画面には表示されません。「マイファイル」（P.96）で選択すると再生できます。
wav、amr、awb、midi、xmf、rtttl、rtx、ota、smf、imy

1 ホーム画面で「アプリ」→「音楽」

楽曲の分類方法を選択するタブの画面が表示されます。

2 画面上部のタブを選択→再生したいデータをタップする

再生が開始されます。
選択したタブ画面で再生している場合は、画面の上または下に表示されている操作バーのジャケットアイコンをタップすると再生画面が表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
[i]	データの詳細情報を表示します。
[一覧]	一覧画面が表示されます。
曲名／アーティスト名／アルバム名	タップすると関連情報を検索できます。
[☆]／[★]	[☆]（グレー）をタップして[★]（黄）にすると、「プレイリスト」タブ画面の「お気に入り」欄に表示されます。
[音量]	音量を調節します。
[5.1ch]	5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
[再生位置]	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
[シャッフル]／[シャッフルオフ]	シャッフル機能のオン／オフを設定します。

項目	説明
▶／❚❚	再生／一時停止します。
⏮／⏭	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
[リピートなし]／[1曲リピート]／[全曲リピート]	リピートモードを設定します（リピートなし／その曲をリピート／全曲リピート）。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.70）、スイッチを1秒以上押すと本アプリケーションを起動できます。本アプリケーションが起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
- 音楽の再生中にスクリーンロックを設定しても再生は継続されます。スクリーンロック中に[電源キー]を押すとステータスバーの下にアイコンが表示され、下方向にドラッグするとスクリーンロックを解除しなくても再生／一時停止／前後スキップ／早戻し／早送りを操作できます。

音楽再生を終了する

1 **[ホーム]をロングタッチ→「タスクマネージャ」→「音楽」の「終了」**

- 音楽の再生を行った場合、[ホーム]や[戻る]をタップしてホーム画面に戻っても音楽再生は終了しません。

プレイリストを作成する

1 **「プレイリスト」タブ画面で[メニュー]→「作成」**

2 **プレイリスト名を入力→「完了」→追加したいデータにチェックを付ける→「追加」**

再生中に[メニュー]→「プレイリストに追加」をタップして、プレイリストに追加することもできます。

■ プレイリストを編集するには

1 **「プレイリスト」タブ画面で編集したいプレイリスト→[メニュー]→操作する項目をタップする**

音楽のメニュー

各タブの画面や再生画面で[メニュー]をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

■ 各タブ画面

項目		説明
プレイリストに追加※1		プレイリストに曲を追加したり、新規作成したりできます。
削除※1		データを削除します。
共有		Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
設定	イコライザー	イコライザーを設定できます。
	エフェクト	音響効果を設定できます。
	ミュージックメニュー設定	タブに表示する項目を設定できます。
作成※2		プレイリストを新規作成します。
プレイリストから削除※2		プレイリストから曲を削除します。
曲を追加※3		プレイリストに曲を追加します。

マルチメディア

次ページへ続く

項目	説明
並べ替え※3	「並べ替え」→▤をドラッグするとプレイリスト内の曲順を並べ替えできます。

※1：「プレイリスト」タブ以外の画面で表示されます。
※2：「プレイリスト」タブ画面で表示されます。
※3：「プレイリスト」タブ画面でプレイリストを選択しているときのみ表示されます。

■ 再生画面

項目		設定
プレイリストに追加		プレイリストに曲を登録したり、新規追加したりできます。
共有		AllShareでのデータ共有や、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
着信音に設定		曲を着信音やアラーム音に登録します。
設定	イコライザー	イコライザーを設定できます。
	エフェクト	音響効果を設定できます。
	ミュージックメニュー設定	タブに表示する項目を設定できます。

カメラ

著作権・肖像権について
FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時にFOMA端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

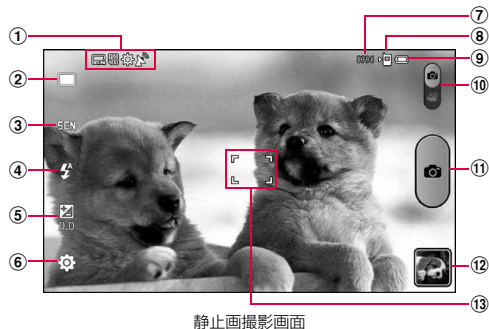
撮影画面の見かた

1 **ホーム画面で「アプリ」→「カメラ」**

静止画撮影画面

動画撮影画面

マルチメディア

次ページへ続く

① **設定状態アイコン**

、(撮影サイズ)：静止画／動画の撮影サイズを表示します。

(GPS)：位置情報を取得して静止画に付加します。

その他（、など）：ISOやホワイトバランスなど、お買い上げ時の設定から変更した場合に表示されます。

② **撮影モード切り替え**

(通常撮影)：通常の静止画を撮影します。

(連写)：静止画を連続（最大9枚）で撮影します。にタッチしている間、連続して撮影されます。

(パノラマ)：最大8枚の静止画を撮影／連結するパノラマ写真を撮影します。をタップして1枚目を撮影してからカメラを上下左右に動かすと、緑色の枠が表示されます。その枠を画面中央に捉えるようにカメラを向けていくと、自動的に2枚目以降が撮影されます。

(スマイル撮影)：被写体の笑顔を検出して撮影します。

(自分撮り)：フロントカメラで撮影します。

(標準)：通常の動画を撮影します。

(メール添付用)：メール添付に適した撮影サイズ（最大約295KB）に設定します。

③ **撮影シーン切り替え**
ポートレイト撮影や夜景撮影など、シーンに応じたモードを設定します。

④ **フラッシュ設定**：フラッシュの発光方法を設定します。

⑤ **露出値**

⑥ **設定**（P.80）

⑦ **撮影可能枚数／録画可能時間**

⑧ **保存先**

⑨ **電池残量表示**

⑩ **静止画／動画撮影切り替え**

：静止画撮影　　：動画撮影

⑪ **撮影**

⑫ **サムネイル表示**：タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画／動画の確認ができます。

⑬ **オートフォーカス枠**
緑：オートフォーカス成功　　赤：失敗
撮影画面をタップするか、またはをロングタッチすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。

お知らせ

- カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

撮影前の設定をする

1 静止画／動画撮影画面で→必要な項目を設定する

項目によっては同時に設定できない場合があります。

タブ	項目	説明
画像設定／ビデオ	撮影サイズ※1	撮影する解像度（サイズ）を選択します。
	ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
	撮影効果	画像に特殊な効果をかけて撮影します。
	ISO※1	ISO感度を設定します。
	画質設定※1	静止画撮影時の画質を設定します。
	ビデオ画質※2	動画撮影時の画質を設定します。

タブ	項目	説明
撮影設定	音声録音※2	動画撮影時に音声を録音するかどうかを設定します。
	プレビュー表示	撮影後にプレビュー画面を表示するかどうかを設定します。
	GPS※1	静止画に現在の位置情報を付加します。
	シャッター音※1	シャッター音を選択します。
	保存先	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
	設定リセット	カメラの設定をリセットします。

※1：静止画の設定時のみ表示されます。
※2：動画の設定時のみ表示されます。

2 **設定が終了したら、[戻る]またはメニュー以外の場所をタップする**

プレビュー画面を利用する

撮影画面右下のサムネイル表示をタップすると、プレビュー画面が表示されます。撮影した静止画／動画を確認し、メールで送信したり壁紙に設定したりできます。

■ プレビュー画面のメニュー

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	設定
共有	PicasaやYouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
登録※1	静止画データを壁紙や電話帳に登録します。
再生※2	動画再生画面に切り替わります（P.75）。
削除	データを削除します。

※1：静止画のプレビュー画面でのみ利用できます。
※2：動画のプレビュー画面でのみ利用できます。

静止画を撮影する

1 **静止画撮影画面で被写体にカメラを向ける→[カメラ]**

シャッター音が鳴り、撮影されます。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影画面をタップすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントを固定した状態で保持します。[カメラ]をタップすると撮影されます。
- [カメラ]をロングタッチすると、指が触れている間はオートフォーカス枠にある被写体にピントを固定した状態で保持します。[カメラ]から指を離すと撮影されます。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を撮影する

1 **静止画撮影画面で[カメラ]をスライドして[ビデオ]に切り替える**

2 **被写体にカメラを向ける→[録画]**

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

- 撮影画面の左上に録画時間、左下にデータサイズが表示されます。
- 撮影を一時停止するには[一時停止]をタップします。

3 **撮影を停止するときは、[停止]**

終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

電話帳

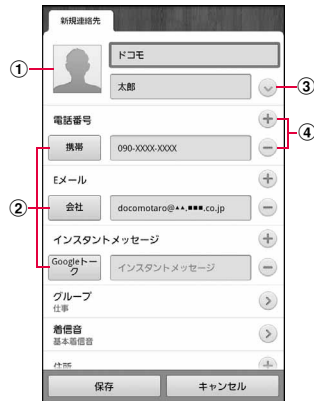
電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」

「電話帳」タブ画面が表示されます。

2 [+] →登録先を選択する

本FOMA端末にオンラインサービスのアカウントなどを設定している場合は、登録先として追加表示されることがあります。

連絡先編集画面

① **画像欄**
画像を登録できます。保存済みの画像を選択するには「アルバム」、写真を撮影するには「カメラを起動」をタップします。

② **ラベルボタン**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベルを作成できます。

③ **詳細入力ボタン**
読み仮名や敬称など詳細情報を入力できます。

④ **項目追加／削除ボタン**
選択した項目の入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力する

- 「グループ」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「その他」をタップすると、説明（メモ）やニックネーム、ウェブサイト、インターネット電話、誕生日などを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先（「docomo」／「本体」）や言語の設定（P.108）によって異なります。

4 「保存」

- 本FOMA端末以外に保存された連絡先には、保存先のアイコンが表示されます。
- 連絡先が表示されない場合は[メニュー]→「表示オプション」をタップして表示の設定を変更できます。

連絡先をお気に入りに追加する

1 「電話帳」タブ画面で追加したい連絡先→☆（グレー）をタップして☆（黄色）にする

追加した連絡先が「お気に入り」タブ画面に表示されます。

プロフィールを登録する

1 「電話帳」タブ画面で[メニュー]→「その他」→「プロフィール」

プロフィールの作成画面が表示されます。

登録済みの内容を編集する場合

プロフィールの表示画面で[メニュー]→「編集」をタップします。

2 必要な項目を入力→「完了」

お知らせ

- プロフィールを名刺データとして送信するには、プロフィールの表示画面で[メニュー]→「送信」→送信方法をタップします。

連絡先の内容を確認／編集する

1 「電話帳」タブ画面で確認したい連絡先→画面右の「詳細」タブをタップする

連絡先の詳細が表示されます。

- 電話番号または[電話]／[SMS]をタップすると、電話をかけたりSMSを作成したりできます。
- メールアドレスをタップするとメールを作成できます。
- 「リンクした連絡先」欄にアイコンが表示されている場合は、アイコンをタップすると、複数の連絡先を1つにまとめたり切り離したりすることができます。

連絡先を編集／削除する場合

「編集」／「削除」をタップします。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモUIMカードと本FOMA端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

1 「電話帳」タブ画面で[メニュー]→「インポート・エクスポート」

2 以下の操作を行う

連絡先をインポートする場合

「SDカードからインポート」／「SIMカードからインポート」をタップします。インポート先を「docomo」、「本体」、およびオンラインサービスのアカウント（ログインしている場合）から選択できます。

- 「SIMカードからインポート」を選択した場合は、連絡先の一覧画面で[メニュー]→操作したい項目を選択→連絡先にチェックを付ける→「完了」をタップします。

連絡先をエクスポートする場合

「SDカードにエクスポート」／「SIMカードにエクスポート」をタップします。

「電話帳」タブ画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
インポート・エクスポート		→P.83
SNSから追加		連絡先をSNSから追加したり、アカウントを登録・管理したりできます。
SNSデータの同期※1		SNSからインポートした連絡先の情報を更新します。
電話帳を送信		連絡先を名刺データとしてメールなどで送信します。
表示オプション		連絡先の表示方法を変更します。
その他	連絡先を削除※2	連絡先を削除します。
	プロフィール	→P.83
	メインの連絡先に設定	電話番号などを2件以上入力したとき、優先的に利用する電話番号などを指定します。
	リンク先を追加	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめます。
	SMS送信	SMSを送信します。
	Eメール送信	メールを送信します。
	設定	連絡先を新規に登録するときの保存先を設定したり、ドコモ総合案内・受付や故障のお問い合わせ先へ電話をかけたりすることができます。

※1：電話帳が同期できるSNSアカウント登録時に表示されます。
※2：電話帳が同期できる SNS アカウント登録時に「その他」内の項目として表示され、未登録時は「その他」と同時に表示されます。

お知らせ

- 「リンク先を追加」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、「電話帳」タブ画面には表示されなくなります。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1. **ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「グループ」タブ**
   連絡先が登録されているグループには、「(件数)」が表示されます。
2. **確認したいグループをタップする**
   グループに登録された連絡先の一覧が画面右に表示されます。
3. **連絡先をタップする**
   連絡先の詳細が表示されます。
   - グループの一覧に戻るにはをタップします。

■ グループを追加／編集する

- グループごとに着信音を設定できます。
- お買い上げ時は「家族」「仕事」「友だち」が登録されています。

1. **「グループ」タブ画面で**

   登録済みのグループを編集する場合
   編集したいグループをタップ→→「グループ編集」をタップします。
2. **グループ名を入力→「グループ着信音」→「基本着信音」／「着信音」／「マイファイル」**
   「基本着信音」をタップした場合は、お買い上げ時の着信音に設定されます。
3. **設定したい着信音をタップ→「OK」→「完了」**

情報管理

お知らせ

- グループを削除する場合は、「グループ」タブ画面で[メニュー]→「グループを削除」→削除したいグループにチェックを付ける→「削除」→「削除」をタップします。

■ グループに連絡先を追加する

1 「グループ」タブ画面で連絡先を追加したいグループをタップする

2 [メニュー]→「グループメンバー編集」

3 画面左の一覧から追加したい連絡先をタップする

グループから連絡先を削除する場合

グループをタップ→[メニュー]→「グループメンバー編集」→画面右の一覧から削除したい連絡先の[−]をタップします。

通信履歴を確認する

通話やSMS送信の履歴を確認できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」→「履歴」タブ

2 連絡先をタップする

通信内容の詳細が表示されます。
表示されるアイコンの詳細は以下のとおりです。

項目	説明
[発信アイコン]	本FOMA端末からの電話の発信／SMSの送信を示します。
[着信アイコン]	本FOMA端末への電話の着信／SMSの受信を示します。
[不在着信アイコン]	本FOMA端末への不在着信を示します。
[電話アイコン]	電話の発信／着信を示します。
[SMSアイコン]	SMSの受信／送信を示します。
[連絡先登録ボタン]	タップすると連絡先に登録できます。
[電話ボタン]	タップすると電話の発信ができます。
[SMSボタン]	タップするとSMSを作成できます。
[メールボタン]	タップするとメールを作成できます。

お知らせ

- [メニュー]→「表示設定」／「通話時間」／「履歴を削除」をタップすると、着信／発信など履歴の内容や通話時間ごとに確認したり、履歴を削除したりできます。
- 「電話帳」タブ画面で連絡先を選択→画面右の「履歴」タブをタップすると、登録されている連絡先ごとに履歴を確認できます。

電話帳からソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を表示する

1 「電話帳」タブ画面で連絡先をタップ→名前の下に表示されているテキストをタップする

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末と電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳コピーツール」
はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 「エクスポート」タブ画面で「開始」
docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードにコピーされます。

連絡先をmicroSDカードからインポートする

1 連絡先データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「インポート」タブ画面でインポートしたいデータをタップ→「上書き」／「追加」
連絡先データがdocomoアカウントにコピーされます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ→「上書き」／「追加」
コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。
- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

お知らせ

- 他のFOMA端末の連絡先項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末によって異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- グループ情報はインポートできません。
- 名前が登録されていないデータはエクスポートできません。
- 「電話帳」のエクスポート機能でmicroSDカードに保存したデータは、本アプリケーションではインポートできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。
- [メニュー]→「ヘルプ」／「バージョン情報」をタップすると、使いかたなどのヘルプやバージョン情報を見ることができます。
- 電話帳コピーツールについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュールを管理できます。FOMA端末のカレンダーとGoogleなどオンラインサービスのカレンダーを同期することもできます。

カレンダーの予定を表示する

1 ホーム画面で「アプリ」→「カレンダー」

2 画面上部のタブで表示方法を選択→予定をタップする

■ 複数のカレンダーを表示する

1 カレンダー画面で[≡]→「設定」→「カレンダー」→表示したいカレンダーにチェックを付ける

カレンダーの予定を作成する

1 各タブ画面で[+]

2 予定のタイトルや日時、場所など詳細を入力する
「アラーム」を設定すると、予定の開始時刻などをアラームで通知できます。
複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、「カレンダー」をタップして選択します。

3 「保存」
- 予定を編集／削除するには、予定のタイトルをタップ→「編集」／[🗑]をタップします。
- 予定を vCalendar 形式で送信するには、予定のタイトルをタップ→「送信」をタップします。
- 「Day」／「Week」／「Month」タブ画面で時刻や日をロングタッチして、1時間または終日の予定を簡単に入力することもできます。

予定のアラームを解除またはスヌーズを設定する

アラームが通知された場合は、以下の操作を行います。

1 ステータスバーを下方向にスクロールして設定／通知パネルを表示→通知をタップ→「スヌーズ」／「通知消去」
「スヌーズ」をタップすると、5分後にすべてのカレンダーをスヌーズ※します。
※：スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示方法などの詳細を設定します。

1 カレンダー画面で[≡]→「設定」

2 変更したい設定を選択する

メモを使用する

1 ホーム画面で「アプリ」→「メモ」

2 [+]→文章を入力→「完了」
作成したメモが一覧で表示されます。画面が縦向きの表示の場合は、一覧画面でメモをタップすると1件表示されます。
- 作成したメモを編集するには一覧画面でメモをタップします。

メモのメニュー

一覧画面や1件表示画面、作成／編集中の画面で[≡]をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

次ページへ続く

項目	説明
ソート	メモを並べ替えます。
削除	メモを削除します。
送信※1	メモをBluetooth機能などで送信します。
全文表示／省略表示※2	メモの表示を全文／3行以内で切り替えます。
印刷※3	Wi-Fiを利用して接続したプリンタでメモを印刷します。 • 2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。

※1：作成／編集中の画面では「送信」のみ表示されます。
※2：画面が横向きの表示の場合は表示されません。
※3：画面が縦向きの表示の場合は、1件表示画面でのみ表示されます。

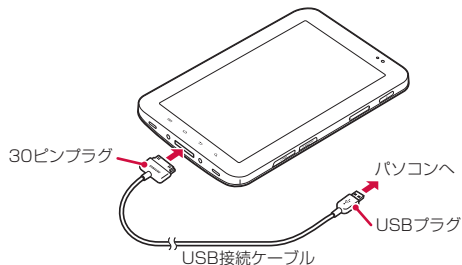
パソコン接続

USB接続ケーブルで接続する

FOMA端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブルで接続すると、パソコンの「Samsung Kies」（P.89）や「Windows Media® Player」（P.90）とデータを同期したり、FOMA端末やmicroSDカードをマスストレージとして認識（P.90）させたりできます。

- パソコンと接続後に接続の種類を設定するには、ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「USB設定」→「接続時に確認」の◉（グレー）をタップして◉（緑）にします。

1 USB接続ケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する

30ピンプラグは、「SAMSUNG」の印刷面を上にして水平に差し込みます。

お知らせ

- USB接続ケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- USB接続ケーブルをパソコンから取り外すときは、USBプラグを水平に引き抜いてください。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先やカレンダー、音楽／動画などのデータをFOMA端末と同期したり、FOMA端末のファームウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご覧ください。
  http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/SC-01Cdownload.html

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「USB設定」→「Samsung Kies」の◉（グレー）をタップして◉（緑）にする

2 FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

FOMA端末に、パソコンと接続中であることを示す画面が表示されます。

3 パソコンでSamsung Kiesを起動する

Samsung Kiesの使いかたについては、「Kies」メニューのユーザーガイドをご覧ください。

MTPモードでパソコンと同期する

パソコンの音楽や動画などのデータをFOMA端末と同期します。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「USB設定」→「MTPモード」の●（グレー）をタップして●（緑）にする

2 FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する
FOMA端末に、パソコンと接続中であることを示す画面が表示されます。

3 パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期を実行する

お知らせ

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。

USBマスストレージ設定

パソコンとFOMA端末を付属のUSB接続ケーブルでつないだとき、パソコン上でFOMA端末およびmicroSDカードのデータを読み書きできるようにします。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「USB設定」→「カードリーダーモード」の●（グレー）をタップして●（緑）にする

2 FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

3 「ユーザーメモリ（本体）をONにする」
使用中のアプリケーションを停止するお知らせの画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

4 パソコンを操作してFOMA端末にデータを転送する

USB接続ケーブルを取り外すには

「ユーザーメモリ（本体）をOFFにする」をタップします。

お知らせ

- microSDカードにアクセス中は電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- カードリーダーモードでパソコンとUSB接続しているときは、FOMA端末からmicroSDカードにアクセスできません。
- パソコンとUSB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。

Wi-Fiを利用する

本FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」
Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける
利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

- ネットワークが表示されない場合は、[メニュー]→「ネットワーク検索」をタップすると再度検索できます。

3 **接続したいWi-Fiネットワークをタップする**

セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

WPS PINで接続する場合

が表示されているネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。「WPS PIN」をタップした後、アクセスポイント機器側でPINコードを入力します。

お知らせ

- 一度接続したネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

■ **WPSボタン方式で接続するには**

1 **Wi-Fi設定画面で「WPSボタン接続」**

2 **アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す**

Wi-Fiネットワークの接続を切断する

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワークをタップ→「切断」**

アクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、FOMA端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、Wi-Fi設定画面で[メニュー]→「詳細設定」→「MACアドレス」で確認できます。

1 **Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiネットワークを追加」**

2 **ネットワークSSIDを入力し、セキュリティを設定→「保存」**

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 **Wi-Fi設定画面で「ネットワーク通知」にチェックを付ける**

Wi-Fiの詳細設定をする

- プロキシやポートの設定を行うこともできます。

Wi-Fiのスリープ設定をする

FOMA端末の画面がオフに切り替わったときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 **Wi-Fi設定画面で[メニュー]→「詳細設定」→「Wi-Fiのスリープ設定」→スリープ設定を選択する**

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本体を設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で[メニュー]→「詳細設定」→「静的IPを使用」にチェックを付ける
2 必要な項目をタップして入力する
3 [メニュー]→「保存」

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- FOMA端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモード（P.37）に設定している場合は、PPTPはご利用いただけません（2011年4月現在）。

VPNを追加する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「VPN設定」
2 「VPNの追加」→追加したいVPNの種類をタップする
3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する
4 [メニュー]→「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続したいVPNをタップする
2 必要な認証情報を入力し、「接続」

VPNを切断する

1 設定／通知パネルを開き、VPN接続中を示す通知をタップする
2 接続中のVPNをタップする

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末とBluetoothデバイスを無線で接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、P.127をご覧ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとの無線接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本FOMA端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

2.他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1.Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、20m以上離してください。
2.20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイスどうしが初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本FOMA端末ではパスコードを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックを付ける

3 「デバイスの公開」にチェックを付ける

FOMA端末が別のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

FOMA端末に名前を付ける場合

「デバイス名称」をタップして端末名を入力し、「OK」をタップします。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能を無効にしてください。
- Bluetooth機能の有効／無効設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

FOMA端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本FOMA端末に登録後、接続を行います。

- Bluetooth デバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 Bluetooth設定画面で「デバイス検索」

検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。

2 接続したいデバイスをロングタッチ→「ペアリングと接続」

ペアリングのみ行う場合

ペアリングしたいデバイスをタップします。

- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。

3 必要な場合は、ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力→「OK」

接続が完了するとBluetoothデバイスの下に「XXXに接続されました」※と表示されます。

※：XXXの部分の表示は、Bluetoothの接続プロファイルの種類によって異なります。

次ページへ続く

デバイスの下に「ペアリング済み」と表示されている場合

デバイスをロングタッチ→「接続」をタップします。

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合は「ペアリングの解除」のみ表示されます。

■ 他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「承認」またはパスコード（PIN）を入力→「OK」をタップします。

■ 接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをロングタッチ→「切断」をタップします。

■ 検索されたデバイスの接続状況などを確認する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、デバイスをロングタッチ→「オプション」をタップします。

ペアリングを解除する

1 Bluetoothデバイスの一覧表示で、ペアリングを解除したいデバイスをロングタッチ→「切断とペアリング解除」

ペアリングのみの状態のデバイスとペアリングを解除する場合は、デバイスをロングタッチ→「ペアリングの解除」をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能を有効にし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 Bluetooth認証要求の画面が表示されたら「承認」

受信時のFOMA端末の状態によってはBluetooth認証要求の画面が表示されます。その場合は「承認」をタップします。

ステータスバーに⬇が表示され、データの受信が開始されます。

設定／通知パネルで受信状態を確認できます。受信が完了したら「Bluetooth共有：受信メール」をタップすると受信したデータを表示／再生できます。

AllShareを利用する

Wi-Fi機能を利用して、他のDLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有することができます。

- AllShareを利用するには、他の機器とのWi-Fiネットワーク接続をあらかじめ設定しておいてください（P.90）。
- 機器の種類によっては一部のファイルを再生できない場合があります。

DLNAを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」→「AllShare」

2 [メニュー]→「設定」→以下の設定を行う

項目	説明
メディアサーバー名	サーバ名として相手機器に表示される名前を設定します。
共有メディア	共有するメディアの種類を設定します。
アクセスポイントネットワーク	接続先を選択します。
他のデバイスからアップロード	他の機器からアップロードされたときの応答を設定します。
保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。

他のDLNA機器とファイルを共有して利用する

1 **画面左の機器リストから、利用したいファイルのある機器にチェックを付ける**

機器が表示されない場合は、をタップして再度検索します。

- 機器をロングタッチ→「詳細」で詳細情報を確認できます。

2 **画面右の機器リストから、ファイルを再生する機器にチェックを付ける→「次へ」**

3 **「ビデオ」／「写真」／「オーディオ」タブ→再生したいファイルをタップする**

- 複数のファイルを選択するには、→「複数選択」→再生したいファイルにチェックを付ける→「再生」をタップします。
- 他の機器にあるファイルをFOMA端末にインポートするには、→「インポート」→インポートしたいファイルにチェックを付ける→「インポート」をタップします。

4 **FOMA端末でファイルの再生操作を行う**

お知らせ

- ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。

アラームを利用する

指定した時刻に音やバイブレーションでお知らせします。

1 ホーム画面で「アプリ」→「アラーム」

2 →時刻やアラーム音などを設定する→「完了」

設定を完了してから→「設定」をタップすると、アラームの音量やスヌーズなどの追加設定ができます。

3 アラーム音を止めるにはを表示される円の外側までドラッグする

を表示される円の外側までドラッグすると、スヌーズを設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- 登録したアラームをオフにするには、(緑色)をタップして(グレー)にします。
- 登録したアラームを削除するには、→「アラームを削除」→削除したいアラームにチェックを付ける→「削除」をタップします。
- 時計表示のオン/オフを設定するには、→「時計を表示/時計を非表示」をタップします。
- 時計表示を変更するには、時計をタップ→表示スタイルを選択→「時計スタイルの設定」をタップします。

世界時計を利用する

登録した都市/国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「世界時計」

2 →登録したい都市/国をタップする

都市/国を世界地図で検索する場合

都市/国の選択画面でをタップします。

お知らせ

- 登録した都市/国を削除するには、→「削除」→削除する都市/国にチェックを付ける→「削除」をタップします。
- 登録した都市/国に夏時間を設定するには、→「サマータイム」→をタップして(1時間)/(2時間)にする→「設定」をタップします。

電卓を利用する

四則演算(+、−、×、÷)やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電卓」

FOMA端末を横向きにすると、関数計算用のキーボードが表示されます。

マイファイルを利用する

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「マイファイル」

2 利用したいフォルダ→ファイルをタップする

選択したファイルが表示/再生されます。

送信やコピー、削除などの操作を行う場合

「ファイル選択」→操作したいフォルダ/ファイルにチェックを付ける→画面下の操作ボタンをタップします。

一番上の階層に戻る場合

「ホーム」をタップします。

マイファイルのメニュー

□をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
フォルダ作成	フォルダを新規に作成します。
ファイル名変更	ファイル名やフォルダ名を変更します。
詳細	詳細情報を表示します。

お知らせ

- microSDカードを取り付けていない状態でexternal_sdフォルダにファイルを保存した場合、microSDカードを取り付けるとそのファイルは表示されなくなります。
- マイファイルでは圧縮データの解凍はできません。ThinkFree Office（P.97）をご利用ください。

ThinkFree Officeを利用する

FOMA端末でOffice文書を表示／編集したり、新規に作成したりできます。ThinkFree Onlineのアカウントをお持ちの場合は、ドキュメントをオンライン上で管理できます。
対応しているファイルの種類とバージョンは以下のとおりです。

- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。

種類	バージョン／拡張子
Microsoft Word	Word 97、2000、2003、2007、2010／txt、doc、docx
Microsoft Excel	Excel 97、2000、2003、2007、2010／xls、xlsx
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97、2000、2003、2007、2010／ppt、pptx
Adobe Acrobat	Acrobat 1.0～9.0（PDFバージョン 1.0～1.7）※

※：埋め込みされたデータなど、一部の機能はサポートされない場合があります。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ThinkFree Office」

初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意する」をタップします。

2 「今すぐ利用開始」→「閉じる」

ThinkFree Officeの「ホーム」タブ画面が表示されます。

ドキュメントを新規作成する

1 「ホーム」タブ画面で「マイ文書」タブ→□→「新規」→文書の種類をタップする

2 作成するファイル名を入力→「OK」

3 文書を入力する

キーボードを表示するには、以下の方法で操作します。

- 「文書」の場合は□をタップします。
- 「スプレッドシート」の場合はセルをダブルタップします。
- 「プレゼンテーション」の場合は、文字の入力欄を選択してからロングタッチ→「テキストの編集」をタップします。

画像やイラストの添付や、文字の設定などの操作を行うには、画面上部のアイコンで機能を選択します。

4 文書を保存するには□をタップする

ドキュメントを表示／編集する

1 「ホーム」タブ画面で「マイ文書」タブ→文書をタップする

2 [メニュー]をタップして、以下の操作を行う

項目		説明
ファイル	保存	文書を保存します。
	名前を付けて保存	文書を別名で保存します。
	送信	文書をBluetooth機能やメールで送信します。
	プロパティ	文書のプロパティを表示します。
検索※1※2		文書内を検索します。
表示モード※1		表示モードを設定します。
ジャンプ※2		セルの位置を指定して移動します。
ズーム※1※2		表示を拡大／縮小します。
印刷※3		Wi-Fiを利用して接続したプリンタでドキュメントを印刷します。 • 2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。
ノート※3		スライドにノートを入力します。
環境設定		文書の編集環境を設定します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

※1：「文書」データで表示されます。
※2：「スプレッドシート」データで表示されます。
※3：「プレゼンテーション」データで表示されます。

お知らせ

• 表示／編集／新規作成したファイルは「最近の文書」タブ画面で一覧表示されます。

文書の移動やコピー、名前の変更などを行う

1 「マイ文書」タブ画面で文書をロングタッチ→操作したい項目を選択する

文書をThinkFree Onlineにアップロードする

1 「マイ文書」タブ画面で文書をロングタッチ→「アップロード」

ドキュメントをオンライン上で管理する

● ThinkFree Onlineのご利用にはアカウントの登録が必要です。ThinkFree Onlineについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
http://www.thinkfree.com/
● アップロード可能なファイルのサイズは最大10MBです。

1 「ホーム」タブ画面で「オンライン」タブ→ユーザー名とパスワードを入力→「サインイン」

2 以下の操作を行う

文書を表示／編集する
文書をタップ→「ダウンロード」→「マイ文書」タブ画面でダウンロードした文書をタップします。

文書の移動やコピー、削除などを行う
文書をタップ→操作したい項目をタップします。

文書を他人と共有する
文書をタップ→「共有」→メールアドレスとメッセージを入力→「共有」をタップすると、共有したい相手にThinkFree Onlineサイトのアドレスとアクセスコードをメールで送信できます。

ThinkFree Officeのメニュー

各タブの画面で[メニュー]をタップすると、以下のメニューが表示されます。

項目	説明
新規※1	文書やフォルダを新規作成します。
更新※1※2	表示を更新します。
並べ替え※1※2	フォルダやファイルの表示を並べ替えます。
環境設定	保存先フォルダの設定や削除時の確認メッセージなど、動作環境を設定します。
アップデート	最新のバージョンに更新します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
新規フォルダ※2	フォルダを新規作成します。
サインアウト※2	サーバからサインアウトします。

※1：「マイ文書」タブ画面で表示されます。
※2：「オンライン」タブ画面で表示されます。

スケッチメモを利用する

手書き入力などによるメモを作成できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「スケッチメモ」

保存されているメモを送信する場合

ホーム画面で「アプリ」→「スケッチメモ」→[メニュー]→「送信」→送信するメモをタップして、送信方法をタップします。

保存されているメモを削除する場合

①ホーム画面で「アプリ」→「スケッチメモ」→[メニュー]→「削除」
②削除するメモにチェックを付けて「削除」→「OK」をタップする

2 「新規作成」→[ペン]タブ

手書き入力の画面が表示され、ディスプレイ上を指で触れて手書き入力します。
画面右上のスライドバーを操作すると拡大／縮小ができます。

- 一番右の▼をタップすると、プレビュー／マップ（地図と現在地の挿入）／タグ（タグの挿入）／印刷※／描き直すが選択できます。
  ※：2011年4月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンタはありません。
- 画面下の[矢印]をタップすると操作の取り消し／やり直しやページ内のスクロール、複数ページの場合はページ移動ができます。

手書き入力を消す場合

手書き入力の画面で[消しゴム]タブをタップして指で触れて入力した内容を消します。

文字列を入力する場合

①手書き入力の画面で[T]タブ→文字列を入力する箇所をタップする
②キーボードで文字列を入力→入力画面をタップする

線の色や太さ、背景色などを設定する場合

①手書き入力の画面で[色]タブをタップする。

[ペン]：着色円とスライドバーを操作して、手書き時の線の色と明暗、および線の太さを設定→「OK」
[T]：着色円とスライドバーを操作して、文字列の色と明暗、および文字サイズを設定→「OK」
[塗りつぶし]：着色円とスライドバーを操作して、メモの背景の色と明暗を設定→「OK」

- 各アイコンの下に現在の設定色が表示されます。

スライド（ページ）を追加する場合

手書き入力の画面で[追加]タブをタップ

次ページへ続く

3 [メニューキー]→「保存」
メモが保存されます。

メールに添付する場合
手書き入力の画面で[メニューキー]→「送信」をタップし、添付するページにチェックを付けて「送信」をタップします。

追加したページを削除する場合
手書き入力の画面で[メニューキー]→「スライドを削除」をタップし、削除するページにチェックを付けて「削除」をタップします。

画像を挿入する場合
手書き入力の画面で[メニューキー]→「インポート」をタップし、挿入する画像をタップします。
挿入した画像を削除するには、[ごみ箱アイコン]をタップします。

作成したメモを画像として保存する場合
①手書き入力の画面で[メニューキー]→「エクスポート」
②「現在のスライド」／「全てのスライド」を選択
③ファイル名を入力→画像フォーマットを「JPEG」／「PNG」から選択→「OK」

電子書籍を利用する

オンラインの電子書籍販売サイト「eBookJapan」にアクセスして、書籍データを購入することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電子書籍」
eBookJapanのユーザーガイドが表示されます。
最終ページのアイコンをタップするとブラウザが起動し、eBookJapanのサイトが表示されます。
eBookJapanについて詳しくは、ユーザーガイドまたはサイト内のサポートページをご覧ください。

MAGASTOREを利用する

オンラインの電子雑誌販売サイト「MAGASTORE」にアクセスして、雑誌データを購入することができます。
- MAGASTOREのご利用にはアカウントの登録が必要です。MAGASTOREについて詳しくは、以下のサイトでヘルプをご覧ください。
http://www.magastore.jp/

1 ホーム画面で「アプリ」→「マガストア」

2 購入したい書籍を検索し、タップする
以降、画面の指示に従って購入操作を行います。

マガストアのメニュー

[メニューキー]をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
My本棚	ダウンロード済みの書籍を一覧表示します。
前回誌面	前回読みかけの書籍を表示します。
しおり	閲覧中のページをしおりに登録します。
ホーム	MAGASTOREのトップ画面に戻ります。
設定	ログインまたはアカウントの新規登録ができます。

電子書籍を読む

FOMA端末で電子書籍データ（EPUB形式）を閲覧できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ブック」

書棚の一覧が表示されます。

- をタップするとタイトルや著者名、カテゴリごとに分類表示できます。「お気に入り」への登録もできます。
- 「読書中」をタップすると前回読みかけのページを表示します。

2 読みたい書籍データをタップする

書籍が表示されます。

- ページをめくるには画面を左右にドラッグします。
- 語句をロングタッチするとコピーや検索、ハイライト付加や辞書の利用ができます。
- 画面をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
	目次を読んだり、ブックマークやハイライトを付加した箇所を確認したりできます。
	フォントや背景色、明るさなどを設定します。
	詳細情報を表示します。
	現在のページをブックマークに登録します。
	現在の表示位置を確認したり、ページを送ったりできます。

書棚の一覧のメニュー

をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
インポート※1	書籍データをmicroSDカードから読み込みます。
編集	書籍データをドラッグして並べ替えたり、をタップして削除したりできます。
削除※2	書籍データを削除できます。
辞書選択	辞書を切り替えます。

※1：著作権保護機能付きの書籍データは利用できない場合があります。
※2：をタップして表示される分類表示画面でのみ表示されます。

Digital frameを利用する

FOMA端末を時計やフォトスタンドとして利用したり、設定した地域の最新の天気を表示したりできます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Digital frame」

2 以下の操作を行う

時計を表示する場合

画面をタップ→「時計」をタップします。

写真をスライドショーで再生する場合

画面をタップ→「スライドショー」をタップします。

- 写真が本FOMA端末に保存されていない場合は「画像を追加」→再生したい写真のあるフォルダにチェックを付ける→「完了」をタップします。

音楽を再生する場合

画面をタップ→「音楽」→再生したい音楽をタップします。

Digital frameのメニューについて

[menu icon]をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
時計のスタイル※1	時計表示を変更します。 • 世界時計のスタイルに設定すると、「世界時計」（P.96）で設定した時刻が表示されます。
音楽プレイヤー	音楽再生アプリケーションが起動します。
自動消灯設定	自動的に消灯する時間を設定します。
明るさ調整	画面の明るさを調整します。
時間表示形式※1	24時間形式の表示のオン／オフを設定します。
画像を追加※2	再生するフォルダを追加します。
効果※2	スライドショーの切り替わりかたを設定します。
再生時間※2	スライドショーの表示間隔を設定します。

※1：時計画面でのみ表示されます。
※2：スライドショー画面でのみ表示されます。

辞書を利用する

3ヶ国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。
お買い上げ時は以下の辞書が搭載されています。

- 旺文社ポケットコンプリヘンシブ英和・和英辞典
  ©2010 Obunsha Co.,Ltd
- 金星社 NEW-ACE JAPANESE-KOREAN／KOREAN-JAPANESE DICTIONARY
  ©KUMSUNG PUBLISHING CO.,LTD.

1 ホーム画面で「アプリ」→「辞書」

2 「辞書」タブ→語句を検索してタップする

検索履歴を確認する場合

「履歴」タブをタップします。

単語帳に登録する場合

「辞書」タブ画面または「履歴」タブ画面で、語句をタップ→「登録」をタップします。登録された語句は「単語帳」タブ画面に表示されます。

辞書のメニュー

[menu icon]をタップすると以下のメニューが表示されます。

タブ	項目	説明
辞書	この辞書について※1	辞書の詳細情報を表示します。
	辞書の変更※2	辞書の種類を切り替えます。
辞書／履歴	登録※2	語句を単語帳に登録します。
履歴／単語帳	削除	語句を単語帳から削除します。
単語帳	表示切替	登録した辞書の種類で語句を分類して表示します。

※1：語句を選択していないときのみ表示されます。
※2：語句を選択しているときのみ表示されます。

ダウンロードを利用する

FOMA端末のブラウザなどのアプリケーションでダウンロードしたファイルを記録／管理できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ダウンロード」

「インターネットダウンロード」タブの画面にはブラウザなどがインターネットでダウンロードしたファイルの一覧が表示されます。アプリケーションがインターネット以外からダウンロードしたファイルは「その他のダウンロード」タブの画面に表示されます。
FOMA端末が対応しているファイルの場合は、ファイル名をタップすると表示できます。

ダウンロードしたファイルを削除する場合

ファイルの一覧画面で削除したいファイルにチェックを付けて、「削除」をタップします。

お知らせ

- ダウンロードに失敗したファイルは、ファイルの一覧画面に「失敗」などが表示されます。ファイル名をタップすると、再度ダウンロードを行います。
- ファイルの一覧画面で[メニュー]→「サイズ順」／「時間順」をタップするごとに、一覧の表示順を切り替えることができます。

FOMA端末の全データや設定をバックアップする

FOMA端末に保存されているすべてのデータや設定をバックアップ／復元できます。

- オンラインストレージサービス（Box.netまたはDropbox）にバックアップするには、各サービスのアカウント登録が必要です。
- データ容量が2Gバイト以上の場合はバックアップできません。音楽や動画など、サイズの大きいデータを保存している場合はご注意ください。
- バックアップ／復元は、他の機能やアプリケーションを終了させてから行ってください。起動中の機能やアプリケーションは、タスクマネージャ（P.33）で確認／終了できます。
- オンラインストレージサービスにシステム設定情報をバックアップする場合、アクセスポイント設定はバックアップできません。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Backup」

初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意」をタップします。
spritebackup画面が表示されます。

バックアップする

1 spritebackup画面で「バックアップ」→保存先をタップ→「新規作成」→バックアップファイルの名前を入力→「次へ」

既存のバックアップファイルに上書きするには、ファイルをタップ→「変更」をタップします。

2 項目にチェックを付ける→「次へ」

完了のお知らせが表示されたら「OK」をタップします。

バックアップファイルをFOMA端末に復元する

1 spritebackup画面で「復元」→復元したいデータの保存先をタップ→バックアップファイルをタップ→項目にチェックを付ける→「次へ」→「データの復元」

完了のお知らせが表示されたら「OK」をタップします。

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1 spritebackup画面で「スケジュール」→保存先をタップ→スケジュールを設定→「次へ」→項目にチェックを付ける→「次へ」

Backupのメニュー

[メニュー]をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目		説明
設定	オンラインバックアップ	オンラインサービス使用時の設定をします。
	セキュリティ	パスワードを設定します。
	自動バックアップ	古いバックアップデータを保存しておく数を設定します。
ヘルプ		ヘルプ（英語）を表示します。
製品情報		製品情報を表示します。

設定メニューについて

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

無線とネットワーク

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目	説明
機内モード	すべてのワイヤレス通信をオフにします。
Wi-Fi設定	→P.90
Bluetooth設定	→P.93
VPN設定	→P.92
モバイルネットワーク	ローミングやアクセスポイント（APN）、接続するネットワークの種類（自動モード、GSM、3G）などを設定します。
USB設定	→P.89
サーバーと同期	→P.57

通話設定

通話関連機能の設定をします。

項目	説明
留守番電話サービス	→P.110
キャッチホン	→P.111
転送でんわ	→P.112
発信者番号通知	→P.49
応答設定	着信時の応答方法を設定します。
着信拒否	着信拒否を設定します。
着信拒否時にSMS送信	→P.73
追加サービス	→P.114

サウンド設定

着信音やバイブレーションなどを設定します。

項目	説明
マナーモード	→P.72
バイブ	→P.72
音量	→P.71
電話着信音	→P.72
通知着信音	メールなどの通知音を設定します。
タッチ操作音	→P.71
選択時の操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの操作音のオン／オフを設定します。
スクリーンロック音	スクリーンロック時の通知音のオン／オフを設定します。
GPS通知	GPS機能使用時の通知音のオン／オフを設定します。
タッチ操作バイブ	[メニュー]、[戻る]やキーパッド画面の数字キーなどをタップしたときのバイブレーションのオン／オフを設定します。
バイブの強さ	バイブレーションの強度を設定します。

画面設定

画面の明るさや表示方法などを設定します。

項目	説明
壁紙	ホーム画面やスクリーンロック時の壁紙の設定をします。
フォントスタイル	画面表示のフォントの種類を設定します。 •「フォントをオンラインで取得」をタップすると、Google Playからフォントを取得できます。
明るさ	→P.34
白濃度	画面の明るい部分の色の濃さを調節します。
黒濃度	画面の暗い部分の色の濃さを調節します。
彩度	色の鮮やかさを調節します。
アニメーション表示	→P.33
バックライト消灯	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間の約6秒前にバックライトが消灯し、画面が少し暗くなります。
省エネモード	省電力モードのオン／オフを設定します。
テレビ出力	動画などをテレビに出力する場合の映像方式を設定します。
画面回転調整	内蔵の加速度センサーを利用してFOMA端末の水平補正をします。

位置情報とセキュリティ

位置情報検索やセキュリティに関する設定をします。

項目	説明
ワイヤレスネットワーク	→P.54
GPS機能	→P.54
位置情報履歴	検出した位置情報（最大100件）のログを保存します。
スクリーンロック設定	→P.35
軌跡を線で表示※1	スクリーンロック解除のパターン入力時に軌跡を表示します。
入力時バイブレーション※2	スクリーンロック解除の入力時に振動します。
SIMカードロックを設定	→P.35
パスワード表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示します。
デバイス管理機能の選択	グループウェアのアカウントなどを設定し、FOMA端末にデバイス管理機能がインストールされている場合に、デバイス管理ポリシーを設定します。
安全な認証情報を使用	証明書やその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。
証明書のインストール	暗号化した証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワード設定	認証情報ストレージのパスワードを設定します。
ストレージを消去	すべての証明書データとパスワードを削除します。

※1：「スクリーンロック設定」を「パターン」に設定した場合のみ表示されます。

※2：「スクリーンロック設定」を「なし」以外に設定した場合のみ表示されます。

アプリケーション

アプリケーションの表示や、管理に関する設定をします。

項目	説明
提供元不明のアプリ	→P.46
アプリケーション管理	→P.47
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
メモリー使用	アプリケーションや機能のメモリ使用量を「サードパーティ」「全て」「外部SDカード」「実行中」に分類して表示します。 画面下部には使用量の合計が表示されます。
バッテリー使用量	機能やアプリケーションごとに電池使用の割合を表示し、タップすると詳細情報などを確認できます。画面上部をタップすると、使用量の推移をグラフで表示します。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。
Samsung Apps	Samsung Appsの更新の通知方法を設定します。

アカウントと同期の設定

各アプリケーションやオンラインサービスの同期方法を設定します。

項目		説明
同期設定	バックグラウンドデータ	→P.48
	自動同期	→P.48
アカウント管理		→P.48

プライバシー

Googleアプリケーションのバックアップ設定やFOMA端末のリセットを行います。

項目	説明
データのバックアップ	Googleアプリケーションの設定やデータをGoogleサーバにバックアップします。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。
システムメモリを初期化	FOMA端末をお買い上げ時の状態にリセットします。「ユーザーメモリ（本体）の初期化」にチェックを付けると、FOMA端末内のメモリに保存されているデータも消去できます。 • microSDカードに保存されているデータは消去されません。消去する場合は、「外部SDカードの初期化」（P.20）を行います。

SDカードと内蔵メモリ

microSDカードやFOMA端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

項目	説明
合計容量	microSDカードやFOMA端末の合計データ容量を表示します。
空き容量	microSDカードやFOMA端末のメモリの空き容量を表示します。
外部SDカードのマウント解除※	microSDカードのマウントを解除して、取り外しや初期化ができるようにします。

次ページへ続く

項目	説明
外部SDカードの取り付け	「外部SDカードのマウント解除」の実行後、再度microSDカードを認識させて、使用できるようにします。
外部SDカードの初期化	→P.20
ユーザーメモリを初期化	FOMA端末のメモリ内のデータを消去します。

※：microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

検索

Google検索やFOMA端末内の検索方法などを設定します。

項目	説明
検索対象	検索対象を設定します。
端末上の履歴を消去する	検索履歴を消去します。
現在地情報を使用	現在地情報をGoogleの検索結果やサービスに使用します。
google.comで検索	ローカルドメイン（www.google.co.jp）ではなくwww.google.comで検索します。
利用規約	Googleのモバイルサービスの利用規約を表示します。
オープンソースライセンス	Google検索のオープンソースライセンスを表示します。

言語と文字入力

使用する言語とキーボードの入力方式を設定します。

項目	説明
言語・地域選択	使用する言語を設定します。
入力方法を選択	入力方式を設定します。
Swype（日本語不可）	→P.40
Samsung keypad（日本語不可）	→P.41
Samsung日本語キーボード	→P.38

音声入出力

Google音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

項目		説明
音声認識設定	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	不適切な語句の検索結果を非表示にします。
音声合成設定	サンプル試聴	音声合成のサンプルを再生します。
	個人設定を常に使用	常に「基本設定」欄で設定した内容でアプリケーションが動作します。
	標準エンジン	テキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時はPico TTSが設定されています。
	音声データをインストール	音声データがインストールされていない場合、Google Playに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

ユーザー補助

通話終了時の動作や、ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを設定します。

- お買い上げ時はユーザー補助オプションが登録されていません。あらかじめGoogle Playなどからオプションをダウンロードして登録する必要があります。

項目	説明
ユーザー補助	ユーザー補助オプションのオン／オフを設定します。
TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
電源キーで通話終了	通話の終了を電源／終了ボタンで行えるように設定します。

日付と時刻

お買い上げ時は「自動設定」（ネットワーク上の日付・時刻情報を自動的に取得して補正）に設定されています。日付・時刻を手動で設定するには、「自動設定」のチェックを外してから設定を行います。

項目	説明
自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。
日付設定※	年月日を設定します。
タイムゾーン選択	タイムゾーンを設定します。
時刻設定※	時刻を設定します。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
日付表示形式	年月日の表記方法を切り替えます。

※：Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

端末情報

電話番号や電波状態、法定情報などの情報を確認できます。※1

項目		説明
ソフトウェア更新		→P.126
ステータス		電池状態や電話番号などを表示します。
バッテリー使用量		機能やアプリケーションごとに電池使用の割合を表示し、タップすると詳細情報などを確認できます。画面上部をタップすると、使用量の推移をグラフで表示します。
法定情報	オープンソースライセンス	オープンソースの使用許諾条件を確認します。
	ライセンス設定	有効期限通知：著作権保護データに使用期限がある場合に通知します。
		ローミングネットワーク：ローミングエリア情報の取得方法を設定します。
		DivX® VOD：登録コードの確認と解除を行います。
		ライセンス情報消去：著作権保護データのライセンスをすべて削除します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
認証		本FOMA端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細を表示します。
システムガイド※2		キーボードの使いかたを確認することができます。
モデル番号		機種名が表示されます。

※1：「ファームウェアバージョン」「ベースバンドバージョン」「カーネルバージョン」「ビルド番号」の各項目には、FOMA端末のソフトウェアについての情報が表示されます。
※2：文字の入力方法に「Samsung日本語キーボード」を設定している場合は表示されません。

利用できるネットワークサービス

本FOMA端末では、メニューを使って以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み方法については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要をFOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。ダイヤルボタン（キーパッド）の操作など詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.110
キャッチホン	要	有料	P.111
転送でんわサービス	要	無料	P.112
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.49
公共モード（電源OFF）※	不要	無料	P.71

※：ダイヤルボタン（キーパッド）で操作します。

- 「停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、ステータスバーに■が表示されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、不在着信に記憶されません。
- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに■が表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声電話発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※：急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスを利用する

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「通話設定」→「留守番電話サービス」**
留守番電話サービスの選択画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

ネットワークサービス

項目	説明
開始	「OK」をタップして留守番電話サービスを開始に設定します。
呼出時間	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を最大120秒まで設定できます。 0～120の数値を入力して「OK」をタップします。
停止	留守番電話サービスを停止に設定します。 「OK」をタップします。
設定確認	現在の設定を確認します。
メッセージ再生	留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージを再生します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。 「OK」をタップします。
設定	留守番電話サービスセンターに接続して、留守番電話サービスの設定を変更します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。 「OK」をタップします。
メッセージ問合せ	留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージをお預かりしているかどうかを確認します。
件数増加鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、確認音とバイブレーションで通知するかどうかを設定します。 確認音による通知には「サウンド」、バイブレーションによる通知には「バイブ」にチェックを付けます。

項目		説明
着信通知	開始	FOMA端末の電源が切れているときや圏外のときなどにかかってきた電話に応答できなかった場合、着信した日時や相手の電話番号をSMSで通知します。 すべての着信を通知する場合：「全着信」→「OK」 発信者番号が通知された着信を通知する場合：「発番号あり」→「OK」
	停止	着信通知を停止に設定します。 「OK」をタップします。
	設定確認	現在の設定を確認します。

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、着信を通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- 通話中に電話がかかってきた場合、「ププ・・・ププ・・・」という通話中着信音は6回で止まりますが、呼び出しは続いています。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「通話設定」→「キャッチホン」

キャッチホンのサービス選択画面が表示されます。

次ページへ続く

2 利用したい項目を選択する

項目	説明
開始	キャッチホンを開始に設定します。 「OK」をタップします。
停止	キャッチホンを停止に設定します。 「OK」をタップします。
設定確認	現在の設定を確認します。

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に通話中着信音が鳴り、着信中の画面が表示されたら を表示される円の外側までドラッグする

通話中の相手との通話を終了する場合

「終了」をタップします。
通話中の相手との通話が終了し、あとからかかってきた相手との通話に切り替わります。

通話中の相手との通話を保留にする場合

「保留」をタップします。
通話中の相手との通話が保留になり、あとからかかってきた相手との通話に切り替わります。「通話相手を切替」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア接続中は、「全員と通話」は選択できません。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に「通話を追加」→別の相手の電話番号を入力→「発信」

現在の通話は保留になります。

新しくかけた相手との通話を終了する場合

「通話を終了」をタップします。
新しくかけた相手との通話が終了し、保留中の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合

「通話相手を切替」をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留になり、保留中の相手との通話に切り替わります。「通話相手を切替」をタップするたびに通話中と保留中の相手を切り替えて通話できます。

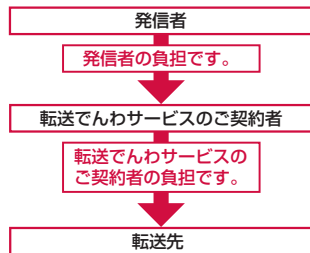
転送でんわサービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、ステータスバーにが表示されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、不在着信に記憶されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 **ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「通話設定」→「転送でんわ」**
転送でんわサービスの選択画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
開始	「OK」をタップして転送でんわサービスを開始に設定します。 「転送先番号」欄と「呼出時間」欄を入力→「OK」 • 未入力の場合は、前回の設定内容で開始されます。 • [アイコン]をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。
停止	転送でんわサービスを停止に設定します。 「OK」をタップします。
転送先変更	転送先の電話番号を変更して転送でんわサービスを開始に設定します。 転送先の電話番号を入力→「OK」→「はい」 • 電話番号入力時に、[アイコン]をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。 • 確認画面で「いいえ」をタップすると、転送でんわサービスを停止したままで、転送先番号のみ変更できます。
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。 「接続する」をタップします。
設定確認	現在の設定を確認します。

転送ガイダンスの有無を設定する

電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

1 **ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「1」「4」「2」「9」を入力→「発信」**

以降、音声ガイダンスに従って設定してください。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。

サービスを登録する

サービスを登録します。また、サービスの登録内容を変更したり、削除したりすることもできます。

1 **ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「通話設定」→「追加サービス」→「USSD登録」**

2 **[メニュー]→「作成」**

登録済みのサービスの内容を変更する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「編集」→変更する項目欄の登録内容を変更→「保存」をタップします。

登録済みのサービスを選択して削除する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「削除」をタップします。

3 **「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力→「保存」**

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

登録したサービスを利用する

1 **ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「通話設定」→「追加サービス」→「USSD登録」**

2 **利用したいサービスをタップする**

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを登録します。

1 **ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「通話設定」→「追加サービス」→「応答メッセージ登録」**

2 **[メニュー]→「作成」**

3 **「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力→「保存」**

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G1900MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

お知らせ

- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても、同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

海外で利用できるサービス

（○：利用可能　×：利用不可）

通信サービス	説明	3G	GSM	GPRS
音声電話	海外でも同じ電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信ができます。	○	○	○
SMS	海外でも同じ電話番号のまま、SMSの送受信ができます。	○	○	○
電子メール	海外でもパケット通信で電子メールの送受信ができます。	○	×	○
GPSの現在地確認	海外でもGPS機能を利用して現在位置確認ができます。	○	×	○
ブラウザ	海外でもパケット通信でインターネットに接続して、Webページを閲覧できます。	○	×	○

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国·地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- GPSの現在地確認は、パケット通信料がかかる場合があります。

海外でご利用になる前の確認

出発前の確認について

海外でFOMA端末を利用する際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■ 充電について

- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- 付属のACアダプタの取り扱い上のご注意については、P.17をご覧ください。
- ACアダプタでの充電方法については、P.18をご覧ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。

■ 遠隔操作設定について

ご契約されている留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを海外から操作するには、遠隔操作設定を開始に設定します。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

■ SMS受信拒否について

海外でSMS（圏外時などの着信情報含む）の受信を拒否するように設定できます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

滞在先でのご利用について

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、他に利用できる通信事業者のネットワークを自動的に検索して接続し直します。お買い上げ時の「ネットワークモード」は「GSM/3G（自動モード）」に設定されています。
「ネットワークモード」の設定を変更するには以下の操作を行います。
ホーム画面で →「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」→「GSM/3G（自動モード）」／「GSMのみ」／「3Gのみ」をタップします。

■ ディスプレイの表示について

利用中のネットワークの種類は、ディスプレイのステータスバーにアイコンで表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
	GPRSネットワーク
	EDGEネットワーク
	3Gネットワーク
	HSDPAネットワーク

海外利用

■ 時計の設定について

「日付と時刻」の「自動設定」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻やタイムゾーンに関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻やタイムゾーンが補正されます（P.109）。

- 補正されるタイミングは、接続している海外通信事業者によって異なります。
- 手動で設定する場合は、「自動設定」のチェックを外して「日付設定」「タイムゾーン選択」「時刻設定」をそれぞれ行ってください。

■ 国際ローミング中のネットワークサービスの利用について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを操作できます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

- 海外からネットワークサービスを操作するには、「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。遠隔操作設定につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 国際ローミング中に電話が着信した場合、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを設定したり、着信を規制（ローミング時着信規制）したりすることができます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 海外からネットワークサービスを操作した場合、ご利用の国の国際通話料がかかります。
- 接続する海外の通信事業者によっては、海外から操作可能なネットワークサービスでも利用できないことがあります。

■ 着信通知について

国際ローミング中にFOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があったときに、着信情報（着信日時や発信者番号）をSMSでお知らせします。

■ お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「GSM/3G（自動モード）」に設定します（P.116）。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 ＋（「0」をロングタッチ）→国番号→地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 「発信」

海外利用

次ページへ続く

4 通話が終了したら「通話を終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

2 相手の電話番号を入力する

3 「発信」

4 通話が終了したら「通話を終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります(P.73)。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

検索された通信事業者名のリストが表示されます。

- データサービスがアクティブ(通信事業者のネットワーク接続中)の場合は、データサービス(接続)を切断して検索する旨の確認画面が表示されます。検索する場合は「OK」をタップします。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」(P.116)の設定により、表示される通信事業者は異なります。

2 接続する通信事業者名をタップする

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、FOMA端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動的に選択」に設定してください。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

使用可能なネットワークが検索されます。

2 「自動的に選択」

- データサービスがアクティブ（通信事業者のネットワーク接続中）の場合は、データサービス（接続）を切断して検索する旨の確認画面が表示されます。検索する場合は「OK」をタップします。

パケット通信のアクセスポイントを切り替える（mopera U）

海外でネットワークに接続する際、アクセスポイントが「mopera U(スマートフォン定額)」に設定されている場合は、アクセスポイントの切り替えが必要です。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

APN画面が表示されます。

2 ［メニュー］→「新規APN」

3 「名前」→任意のアクセスポイント名を入力→「OK」

- 「名前」欄の入力を省略して登録することはできません。

4 「APN」→「mopera.net」を入力→「OK」

5 ［メニュー］→「保存」

APN画面に戻ります。

登録を中止する場合

［メニュー］→「破棄」をタップします。

登録済みのアクセスポイントを選択して削除する場合

［メニュー］→「APNを削除します」をタップします。

6 APN画面で登録したアクセスポイントの◉（グレー）をタップして◉（緑）にする

アクセスポイントが変更されます。

お知らせ

- 日本に帰国する前にはアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に切り替えてください（P.37）。
  切り替えずに使用した場合、料金が高額になる恐れがありますので必ず設定を変更してください。
- 「名前」、「APN」以外の項目は入力不要です。
- 「MCC」を440、「MNC」を10以外に変更しないでください。画面に表示されなくなります。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ SC01
- USB接続ケーブル SC01
- 車載ハンズフリーキット 01※
- ワイヤレスイヤホンセット 02※
- 骨伝導レシーバマイク 02※
- FOMA 補助充電アダプタ 02

※：本FOMA端末とBluetooth通信で接続できます。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。やり直してください※	FOMA端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがOnです。通話を行うには、機内モードをOffにしてください	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.16、P.105

※：XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

故障かな？と思ったら

- まず初めにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.126）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェックする箇所
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池切れになっていませんか。充電してください。→P.19
充電ができない	• アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか？ • 付属のACアダプタとUSB接続ケーブル、またはUSB接続ケーブルとFOMA端末が正しくセットされていますか。 • USB接続ケーブルをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や内蔵電池、付属のACアダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• スクリーンロックが設定されていませんか。⊖を押してスクリーンロックを解除してください。→P.30
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか？保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。 • ディスプレイの表面に傷が付いたり、破損したりしている場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
ドコモUIMカードが認識されない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.16

次ページへ続く

症状	チェックする箇所
電話がつながらない	• ドコモUIMカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか。→P.16 • 市外局番から入力していますか。 • 機内モードを設定していませんか。→P.105
着信音が鳴らない	• マナーモードに設定していませんか？→P.72 • 「電話着信音」を「サイレント」にしていませんか。→P.72 • 「音量」の「電話着信音量」の音量を0にしていませんか。→P.71 • 機内モードを設定していませんか。→P.71、P.105 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→P.110、P.113
通話ができない	• 電源を入れ直すか、ドコモUIMカードを取り付け直してください。→P.16 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（▮）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の表示が消えるまでの時間を設定していませんか。→P.106 • ディスプレイの明るさを調節していませんか。→P.34 • 電池残量が少なくなっていませんか。→P.18
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 受話音量を変更していませんか。→P.67
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
⊘（圏外）が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • ネットワーク接続の設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P.118 • 日本国内から海外へ移動した後に「ネットワークモード」を「GSM/3G（自動モード）」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「GSM/3G（自動モード）」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。→P.117

付録／困ったときには

症状	チェックする箇所
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	• ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算していただくことで、サービスを再開します。 •「ネットワークモード」を確認してください。「GSM/3G（自動モード）」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。滞在先で接続するネットワーク（「3Gのみ」または「GSMのみ」）に変更してください。→P.105
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。
データ転送が行われない	• USBハブを使用していませんか？USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。→P.19
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合はが表示されます。
Bluetoothデバイスがスキャンしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待受状態にしておく必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスとFOMA端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
FOMA端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• FOMA端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。→P.33
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	•「システムメモリを初期化」（P.107）をお試しください。
スクリーンロックを解除できない	• スクリーンロックの解除にパターン／PIN／パスワードが設定されていませんか。→P.35
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。→P.25
FOMA端末が応答しない、操作できなくなった	• を8～10秒間押してください。自動的に再起動します。再起動しても問題が解決しないときは「システムメモリを初期化」（P.107）をお試しください。
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	• 電池残量を確認してください。→P.19 • メモリの空き容量を確認してください。 • FOMA端末を再起動してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、連絡先のインポート／エクスポート機能を使用して電話帳の登録データをmicroSDカードやドコモUIMカードに保存していただくことができます（P.84）。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（P.121）をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
    ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定が、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、カメラ、バイブレータ部分
- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理、内蔵電池の交換をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、FOMA端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」（P.89）を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

- ソフトウェア更新はFOMA端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、FOMA端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - FOMA端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.33）
  - FOMA端末を充電（P.17）し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

FOMA端末だけで更新する

FOMA端末でネットワークに接続してFOMA端末のソフトウェアを更新できます。

1 **ホーム画面で[MENU]→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「アップデートの確認」**
初めて利用する場合は、メールアドレスとパスワードを入力してSamsungアカウントの登録が必要です。

2 **以降、画面の指示に従って操作する**
ソフトウェア更新が完了すると、FOMA端末が自動的に再起動します。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「キャンセル」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。
延期した場合でも、「アップデートを再開」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

パソコンに接続して更新する

パソコンにインストールした「Samsung Kies」を使ってFOMA端末のソフトウェアを更新できます。

1 **ホーム画面で[MENU]→「設定」→「無線とネットワーク」→「USB設定」→「Samsung Kies」の◉（グレー）をタップして◉（緑）にする**

2 **FOMA端末とパソコンを接続し、パソコンでSamsung Kiesを起動する**

3 **以降、パソコンの画面の指示に従って操作する**

主な仕様

■ 本体

品名		SC-01C
サイズ		高さ約190mm×幅約120mm×厚さ約12.1mm (最厚部：約12.2mm)
質量		約382g (内蔵電池装着時)
メモリ		ROM　512MB+16G RAM　512MB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約1600時間 移動時（自動）：約1000時間 移動時（3G固定）：約1080時間
	GSM	静止時（自動）：約1160時間
連続通話時間	FOMA／3G	約910分
	GSM	約1150分
充電時間		約224分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216（24bit）色
	サイズ	約7.0inch
	ドット数	600×1024ドット ワイドSVGA（WSVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	フロントカメラ：1/6.0inch リアカメラ：1/5.0inch
カメラ有効画素数		フロントカメラ：約130万画素 リアカメラ：約320万画素
記録画素数（最大時）		フロントカメラ：約130万画素 リアカメラ：約320万画素
音楽再生	Windows Media Audio（WMA）ファイル	連続再生時間約5260分 (バックグラウンド再生対応)
	MP3ファイル	連続再生時間約5100分 (バックグラウンド再生対応)
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n準拠
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.3.0+EDR
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内

付録／困ったときには

次ページへ続く

Bluetooth機能	対応プロファイル※3	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Human Interface Device Profile（HID） File Transfer Profile （FTP） SIM Access Profile（SAP） Serial Port Profile （SPP） Phone Book Access Profile（PBAP） Generic Access Profile （GAP） Service Discovery Application Profile （SDAP）

※1：本FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3：Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	4000mAh

ファイル形式

FOMA端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-01C（本体）※	microSDカード（2GB）
800×600（0.4M）	最大約90,000枚	最大約16,000枚

画質設定：スーパーファイン、ファイルサイズ：130Kバイトで撮影した場合の目安です。
※：お買い上げ時の保存可能枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-01C（本体）※	microSDカード（2GB）
720×480（D1）	最大約420分 （1件あたり最大約60分）	最大約60分 （1件あたり最大約60分）

ビデオ画質：ファイン、音声録音：ONで撮影した場合の目安です。
※：お買い上げ時の録画可能時間です。

認定および準拠について

本FOMA端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本FOMA端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
ホーム画面で[メニュー]→「設定」→「端末情報」→「認証」をタップします。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
1. Reorient/relocate the receiving antenna.

次ページへ続く

2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the exposure limits for radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S. Government.
These FCC exposure limits are derived from the recommendations of two expert organizations: the National Council on Radiation Protection and Measurement (NCRP) and the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE).
In both cases, the recommendations were developed by scientific and engineering experts drawn from industry, government, and academia after extensive reviews of the scientific literature related to the biological effects of RF energy.
The exposure limit set by the FCC for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR is a measure of the rate of absorption of RF energy by the human body expressed in units of watts per kilogram (W/kg). The FCC requires wireless devices to comply with a safety limit of 1.6 watts per kilogram (1.6 W/kg).
The FCC exposure limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection to the public and to account for any variations in measurements.

SAR tests are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.
Before a new model device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the exposure limit established by the FCC. Tests for each model of a device are performed in positions and locations (e.g. near the body) as required by the FCC.
For typical operations, this device has been tested and meets FCC RF exposure guidelines.
Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. The maximum Body-worn SAR value for this model phone as reported to the FCC is 1.29 W/kg.

FCC Radio Frequency Emission

This device meets the FCC Radio Frequency Emission Guidelines.
SAR information on this and other model devices can be viewed online at http://ww.fcc.gov/oet/ea. To find information that pertains to this particular model device, this site uses the FCC ID number A3LSWDSC01C.
Follow the instructions on the website and it should provide values for typical or maximum SAR for a particular device.
Additional product specific SAR information can also be obtained at www.fcc.gov/cgb/sar.

European RF Exposure Information

THIS MODEL MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES
Your mobile phone is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile phone offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*1. In this case, the highest tested SAR value is 0.867 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a 'handsfree' device to keep the mobile phone away from the head and body.

*1 : When carrying the product or using it while worn on the body maintain a distance of 5 mm from the body to ensure compliance with RF exposure requirements.

Declaration of Conformity

We, **Samsung Electronics**

declare under our sole responsibility that the product

GSM WCDMA Wi-Fi Mobile Phone : SC-01C

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950- 1 : 2006 +A11:2009 EN 50332-1 : 2000 EN 50332-2 : 2003
SAR	Council Recommendation 1999/519/EC EN 62311: 2008 EN 50371: 2002 IEC 62209-2: 2010
EMC	EN 301 489- 01 V1.6.1 (09-2005) EN 301 489- 01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489- 07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489- 17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489- 24 V1.4.1 (09-2007)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 908- 1 V3.2.1 (05-2007) EN 301 908- 2 V3.2.1 (05-2007) EN 301 893 V1.5.1 (2008-12) EN 300 440-2 V1.2.1 (2008-05)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

次ページへ続く

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,

Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK※

Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :
Samsung Electronics QA Lab.

CE0168

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK※

2010/10/11
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab Manager

(name and signature of authorised person)

※ It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「spモード」「spモードメール」「エリアメール」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Latitude」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- DivX®、DivX Certified®およびこれらの関連ロゴはDivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
  - 次の1つ以上の米国特許に該当します。
  7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

  DIVXビデオについて：DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機器はDivXビデオの再生デバイスとして公認された、DivX Certified 認証デバイスです。ファイルをDivXビデオに変換するための詳細情報およびソフトウェアツールについては、www.divx.comをご覧ください。

  DIVXビデオオンデマンドについて：このDivX Certified®デバイスでDivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、登録手続きが必要となります。登録に必要なコードは、デバイスセットアップ・メニューのDivX VODセクションをご覧ください。手続き方法はvod.divx.comでご確認ください。

  最高HD720pのDivX®ビデオ(プレミアコンテンツを含む)の再生が可能なDivX Certified®認証取得済み。1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

■ 運転中の場合

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

携帯電話の回収･リサイクル

携帯電話･PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機･電池･充電器をブランド･メーカー問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　午前9：00 ～ 午後8：00（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SC-01Cから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SC-01Cから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'11.4（3.1版）